

「多摩丘陵」グループ

事業計画書

公益財団法人東京都公園協会

目 次

I 支出計画	1
II 事業計画	
1 管理運営に関する基本的事項	2
(1) 公の施設の管理運営に対する基本的考え方	2
(2) 都立公園の管理運営における基本理念	4
(3) 指定管理者の責務	6
2 人員配置計画等	8
(1) 人員配置計画	8
(2) 組織体制・指揮命令系統と役割分担	2 2
(3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組	2 4
3 運営管理計画	2 6
(1) 都立公園の管理運営についての実施方針と具体的な取組	2 6
(2) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組	2 8
(3) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法	3 0
(4) 都民協働や地域コミュニティとの連携による公園の魅力や地域の価値の向上につ ながる取組	3 2
(5) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案	3 4
(6) 東京 2020 大会レガシーを継承する取組	3 6
4 施設維持管理計画	3 8
(1) 適切な維持管理を行うための取組	3 8
(2) 事故、自然災害及び感染症などの社会課題への対策・対処するための取組	4 0
(3) 施設補修、施設改良に関する要望への取組	4 2
(4) 丘陵地特性を踏まえた植生管理	4 4
(5) 公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の考え方	4 6

I 支出計画

単位:千円

年 度	提案額
5年度	258, 767
6年度	258, 767
7年度	258, 767
8年度	258, 767
9年度	258, 767
計	1, 293, 835

Ⅱ 事業計画

1 管理運営に関する基本的事項 (1) 公の施設の管理運営に対する基本的考え方

1. 都立公園の指定管理者としての役割

都立公園は、**都民の福祉の増進と生活文化の向上**に寄与するための「**公の施設**」です。

公園は、都市に潤いや風格をもたらすとともに、ヒートアイランドの抑制や生き物の生息地保全等の環境改善機能を有し、さらに、人々の安全・安心に寄与する防災空間としての機能も有しています。

指定管理者は、行政の代行としての基本姿勢に立ち、コンプライアンスや個人情報管理の徹底のもと、公平で公正なサービスの提供に加え、時代の変化に迅速に対応した質の高いサービスを提供することが必要です。

私たちは都立公園の指定管理者として、多様な主体とのパートナーシップを通じて、多面的機能を最大限に引き出す効果的な管理運営を進め、創意工夫により都立公園の価値を向上させ、公益法人としての理念「緑と水 まちを豊かに」を実現します。

(1) 公園の役割や機能を活かす安定的な公園サービスの提供

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、公園は地域の人々にとって心身の健康維持のための身近なオープンスペースとして、その価値が再認識されました。私たちは、こうした社会環境や利用者ニーズの変化に迅速に対応し、都立公園の役割・機能を最大限に発揮させるため、柔軟かつ安定的な公園サービスを提供します。

(2) 多様な主体との連携による利用者に関わった管理運営の実施

私たちは公益法人として、地域や行政、専門家とのパートナーシップを充実させ、長年蓄積してきた経験やノウハウを活かしたパークマネジメントを効果的・効率的に実践します。

さらに、公園ボランティアをはじめ地域団体や民間事業者等の多様な主体との連携を促進し、様々な利用ニーズに対応した管理運営を行います。

(3) 時代の変化を敏感に捉えた都立公園の価値向上

「生活の質」の向上に関心が高まるなか、広い視野で公園の新しい価値を創出し、東京都政策連携団体として『未来の東京』戦略との政策連動性を保ち、利便性向上や、公園から持続可能な社会づくりに寄与する SDGs 等の取組を推進します。

2. 私たちが描く公園管理の姿

私たちは、経営理念に「**5つのVision**」を掲げ、都立公園に新しい風を吹かせ、緑あふれる東京の実現に貢献します。また、これらの実現にあたっては、SDGsの考えに基づき取組むこととし、令和3年4月にSDGs宣言を行いました。



Vision1 みんなをスマイルに！

誰もが緑と水に親しみ、公園でのひと時がかけがえのない体験となるよう、最高のおもてなしでお迎えします。

- ①安全で快適に利用していただけるよう、笑顔と気配りでおもてなしの質を向上させます。
- ②利用者からの要望や苦情を分析し、公園管理のサービス・品質を向上させます。
- ③多様性を尊重し、誰もがいつでも安全・快適に利用できる施設の提供に努めます。
- ④東京 2020 大会のレガシーとして、多言語化やバリアフリー等の取組を継続します。
- ⑤再生可能エネルギーの更なる導入を推進し、温室効果ガスの削減に寄与します。
- ⑥老朽化した施設ストックの補修を進めます。



信頼＆フレンドリー
スタッフのスマイル接客

Vision2 備えあれば憂いなし！

大規模災害時にいのちを守る場所となるよう、災害対応力の向上を図ります。

- ①避難場所として地元自治体等との連携・協力を図り、防災機能を発揮します。また、独自の「震災対応マニュアル」に基づく参集訓練を実施します。
- ②関東大震災 100 年を契機に高まる防災意識を背景に、地域住民との防災イベントや、防災広報のより一層の充実を図り、防災意識のさらなる普及啓発に努めます。
- ③集中豪雨や河川の氾濫等に備え、ハザードマップやタイムラインの活用等、水災意識の普及啓発に努めます。



いつでも備え万全
多彩な防災訓練を開催

Vision3 公園を中心に WA になろう！

人々をつなぎ、コミュニティの形成や協働を通して、住みよい地域づくりに貢献します。

- ①日常の健康増進や育児、ワーケーションでの公園利用など、企業・団体・学校等と連携したプログラムの展開により、公園を中心とした地域の魅力向上と活性化に貢献します。
- ②公園が地域の人と人をつないでコミュニティ形成を促進させ、パークミーティング等によるコミュニケーションを通じて、地域の魅力向上と活性化を図ります。
- ③公園がウォークラブルなまちづくりのネットワーク拠点となるよう、居心地よく、歩きたくなる空間を提供します。



コミュニティを促進する
地域の中での居場所づくりに貢献

Vision4 地球の恵を感じて！

生物多様性に配慮し、緑地や水辺を守り育てることで、持続可能なまちづくりに貢献します。

- ①公園協会版「生物多様性保全戦略」等に基づき、丘陵地レンジャーが中心となって生物多様性保全に係る活動を推進するとともに、環境団体等と連携し、都市に残された豊かな里山環境を次世代に継承します。
- ②社内の造園や植物の専門家、緑と水の市民カレッジ、植物多様性センターと連携し、社外の学識経験者の協力を得ながら、専門性の高い生物多様性保全活動の成果を広く都民に情報発信します。
- ③施設の長寿命化や発生材のリサイクルなどを通じて、地域や企業と連携して、公園環境と省エネルギーに配慮した管理運営を実施します。地球環境保全への社会的使命を果たし、都民サービスの向上や公園の魅力アップを図ります。



多様なプログラムによる
生物多様性の普及啓発

Vision5 公園の魅力をもっと！

都市における緑と水の大切さや、東京の歴史や文化など、公園の魅力を発信していきます。

- ①都民・専門家・企業・団体等と連携し、公園の価値を高め、継承していくプログラム・イベントを実施します。また、国内外に公園文化を発信します。
- ②「公園協会 SDGs 宣言」により、多様な主体と連携して様々な社会的課題に応え、持続可能な緑と水の空間を生み出し、提供します。
- ③彩りのある花修景や、人々の心を魅了する樹林や樹木の景観など、公園が本来持つ魅力を引き出し、発信します。



新しいニーズに応え
公園の多面的価値を向上



(2) 都立公園の管理運営における基本理念

本グループは、西は高尾山麓から東は神奈川県境へと、東西約20kmにわたる多摩丘陵に位置し、クヌギ・コナラ等の雑木林や谷戸部の湿生植物群落などの豊かな自然のなかにあります。また、人々の生活の中で育まれてきた里山環境が今なお残る一方で、都心からのアクセスも容易なことから、大規模な住宅地等に接続する地域特性を有しています。本グループの公園はいずれも「生物多様性豊かな里山環境と歴史が息づく丘陵地公園」として、都内でも貴重な存在となっています。



1. 多摩丘陵グループのこれまでの歩み

第1期

H18~H22

自然資源を大切に保全しながら、都民と自然のふれあいを重視した管理運営を進めました！

- 「里山」の適切な保全と維持管理
- ボランティアや地域NPOとの協働
- 自然とのふれあい、自然学習の推進

第2期

H23~H27

人と水と緑育む多摩丘陵の、地域の共有財産である風土（自然と文化）を守り、伝えました！

- 生物多様性に配慮した管理運営
- 公園の魅力アップとレクリエーション利用の促進
- 都民協働によるパークマネジメントの促進

第3期

H28~R4

里山・人・地域を元気にする「里山ウェルネス」を展開し、公園を核とした「心のふるさとづくり」を進めました！

- 豊かな里山環境を保全・創出し、次世代へ継承
- 里山の利活用を通じて、健康・生きがい・愛着を醸成
- 活動の輪を広げ、公園を核とした地域コミュニティを活性化

自然とのふれあい



親子向けプログラム



人を元気に！



[マネジメントプラン改定の視点や公園別マネジメントプランの変更点]

ポストコロナを見据えた社会への順応、激甚化する気象災害への対応、東京2020大会レガシーの継承、民間や地域との連携強化、DXの推進、子どもの心身の育成と多世代交流の場づくり等

そして、第4期 R5~R9 へ・・・

2. 未来につなげる基本理念

みんなの「心のふるさと」～人生とともに歩む公園～

私たちは長年にわたり、協働による里山環境の保全や地域連携によるイベントなど、“丘陵地ならではの公園づくり”を行ってきました。これからはさらに、新しい住民や子どもたち、都心からの来訪者、障がいのある方など、誰もが人生のさまざまなシーンで訪れ、親しみ、主体的に参画し、「心のふるさと」として関わり続けてもらえるような公園へと発展させていきます。



3. 指定管理期間終了後のグループ内の各公園の姿



4. 基本理念実現のためのノウハウ活用

多様な主体と連携できるコーディネートスキルで、誰もが輝く居場所づくりを進めます！

これまで、利用者、地域住民、行政、ボランティア、教育機関、NPO、企業など、公園に集まる様々な主体と積極的につながり、調整を図ることで、公園の魅力向上に取り組んできました。

今後はさらに、子どもや若者、障がいのある方など、公園を利用するみんなが個性を発揮して“キラキラ”と輝ける居場所づくりをコーディネートしていきます

公園管理の経験豊富な人材を活かして、公園の新たな魅力を発掘する場を提供します！

長年にわたって東京都の公園・庭園等の指定管理を行ってきた経験から、公園管理運営士など公園管理のスペシャリストである職員を多数有しています。

今後は、大学等研究機関や民間事業者などとの連携を深め、多様化するニーズや地域特性の変化に柔軟に対応し、みんなで“ワイワイ”楽しく里山のお宝、公園が持つ魅力を再発掘できる場を生み出していきます。

長年培った多摩丘陵の生物多様性保全の経験とデータを基に、未来へ残す里山環境を育みます！

丘陵地レンジャーが中心となり、各公園でボランティアや社内外の専門家と連携し、生物多様性環境に配慮した植生管理や希少種保全、モニタリング調査を継続し、膨大なデータを蓄積してきました。

今後は、丘陵地レンジャーがこれまでの経験やデータを活かして、チームとして連携を深め、グループ全体での調査、保全、普及啓発活動に積極的に都民を巻き込みながら、この貴重な里山環境をみんなと“ススク”育んで、次代を担う子どもたちに継承していきます。



(3) 指定管理者の責務

1. 指定管理者の責務への考え方

都に代わって公の施設の管理運営を行う指定管理者は、公平公正な観点から社会的倫理に則り、利用者に対するサービスの向上に努めるほか、大規模自然災害の発生時や危険性の高い感染症の流行時等においては、災害対策などの都の施策への積極的な協力や、都の要請等に応じ都民・利用者の安全確保に努めます。

2. 指定管理者としての責務

(1) 条例・ガイドライン等に基づく必要な措置の確実な実施

○東京都個人情報の保護に関する条例、東京都情報公開条例、東京都公文書等の管理に関する条例、東京デジタルファースト条例、東京都行政手続条例及び東京都サイバーセキュリティ対策基準 等

(2) 適正な契約発注の実施

○第三者への管理業務の一括委託の禁止
○東京都暴力団排除条例に基づく暴力団排除措置
○公益法人として公益性を重視した公平な入札機会の提供 等

(3) 労働関係法令の遵守と都が実施する労働環境確保のための施策等への配慮

○労働基準法、労働安全衛生法、労働契約法等の遵守
○公共サービス基本法に基づき都が実施する労働環境確保のための施策への配慮 等

(4) 指定管理者としての社会的責任を積極的に発揮する取組

法令や条例等に基づく適切な都立公園の管理運営とともに、社会情勢の変化を踏まえ、以下のとおり、指定管理者としての社会的責任を果たすべく取組を積極的に推進します。

①障がい者に対する社会的障壁除去の実施について、必要かつ合理的な配慮

根拠となる 法令や条例等	○障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 ○東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例 等
方 針	障がい者は日常生活や社会生活の中で、自立や社会参加が妨げられている状況があります。障がいのある利用者から、バリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた場合、負担が重すぎない範囲（合理的配慮）で対応し、みんなで支え合う、ともに生きる東京のダイバーシティ実現に貢献します。
取 組	○SC研修の実施 障がいの内容に応じた丁寧な接客を実施するため、東京都障害者差別解消法ハンドブック等を活用した研修を実施します。 ○情報コミュニケーションの基本的な配慮 ルビ付き文字や筆談、点字、読み上げ、分かりやすい表現への置き換え等、障がいの内容に合わせて対話できる情報保障に取組みます。 ○園内バリアフリー情報の発信 障がいのある利用者と実感を踏まえ、園内のバリアフリー情報を作成・公開し、ユニバーサルデザインの視点による改修を進めます。 ○ヘルプマークへの理解を深める普及・啓発 園内へのポスター掲示等に取組みます。

②障がい者の雇用

根拠となる 法令や条例等	○障害者雇用促進法 等
方 針	障がいの有無を問わず、多様な人材を活用するダイバーシティの考え方に基づき、障がいのある人もない人も、互いに支え合える多様な職場作りを進めます。 障がい者とともに働くことで「違い」に気づき、お互いの理解を深め配慮しようという助け合いを育み、新しい発想や視点を公園の管理運営に反映します。
取 組	○障がい者合同面談会への出席及び職場体験実習の積極的な受け入れ 法定雇用率2.3%以上を維持します。【令和4年4月1日時点 2.4%】 ○障がい特性に配慮した職場環境の提供 配属例：身体障がい者：本社総務課 知的障がい者：庭園SC 精神障がい者：公園レストランなど

③公の施設における不当な差別的言動の防止

根拠となる 法令や条例等	○本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律 ○東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例 等
方 針	特定の国籍や民族の方々に誹謗中傷し、排斥する言動（ヘイトスピーチ）は、人々に不安・嫌悪感を与えるほか、人の尊厳を傷つけ差別意識を生む等、許される行為ではありません。職員や公園利用者が、国籍や文化の違いを理解し合い、お互いを思いやるよう、人権についての意識啓発に取組めます。
取 組	○人権研修の実施 ○ポスター掲示等による啓発 ○東京都や警察等と連携した対応 デモ・集会等に関する監察時、警察や東京都適正化担当部署と連携した対応を実施します。 ○差別事象への迅速かつ的確な対応 誤解や差別意識の助長を防止 ＜差別的な張り紙・落書き等を発見した場合＞ ・一時的な遮へい措置、現場写真の撮影 ・最寄りの警察署への通報、被害届の提出 ・事故一報の送信、関係部署への連絡 ・警察による処理終了後、落書きの消去や貼り紙の撤去

④事業活動に係る環境負荷の低減

根拠となる 法令や条例等	○『未来の東京』戦略 ○ゼロエミッション東京戦略2020 Update & Report 等														
方 針	様々な環境面の課題の解決と生活の質の向上が求められる中、社会生活に季節感と潤いを与え、美しく風格ある都市や地域の形成に寄与し、多面的な機能を発揮する公園の役割はますます高まりつつあります。 そうした中、都立公園の指定管理者として、地球環境保全のため環境負荷の低減を図り、「持続可能な社会」の実現に向けて積極的に行動します。														
取 組	 TOKYO PARKS 多摩丘陵グループ ゼロエミッション 指定管理期間の5年後を目標に、管理運営における環境負荷を定量的に把握し、適正管理によって低減に取組み、達成状況を見える化してWEB等で発信します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th><th>5年後の目標</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○再生可能エネルギーによる電力調達</td><td>社会情勢等を考慮し導入</td></tr> <tr> <td>○剪定枝等のリサイクル化</td><td>リサイクル率100%</td></tr> <tr> <td>○公園管理車両の非ガソリン化</td><td>電気自動車の導入</td></tr> <tr> <td>○エンジン工具の非ガソリン化</td><td>新規購入100%非ガソリン化 (停電時対応機器を除く)</td></tr> <tr> <td>○プラスチック製品の削減</td><td>生分解性資器材の導入</td></tr> <tr> <td>○自転車利用の推進</td><td>シェアサイクルポートの誘致・適正な駐輪場の整備（ニーズのある公園100%）</td></tr> </tbody> </table> ■関連する活動 ・企業や団体等と連携したSDGsに関する普及啓発 ・丘陵地レンジャーによる生物多様性の普及啓発・環境教育	指標	5年後の目標	○再生可能エネルギーによる電力調達	社会情勢等を考慮し導入	○剪定枝等のリサイクル化	リサイクル率100%	○公園管理車両の非ガソリン化	電気自動車の導入	○エンジン工具の非ガソリン化	新規購入100%非ガソリン化 (停電時対応機器を除く)	○プラスチック製品の削減	生分解性資器材の導入	○自転車利用の推進	シェアサイクルポートの誘致・適正な駐輪場の整備（ニーズのある公園100%）
指標	5年後の目標														
○再生可能エネルギーによる電力調達	社会情勢等を考慮し導入														
○剪定枝等のリサイクル化	リサイクル率100%														
○公園管理車両の非ガソリン化	電気自動車の導入														
○エンジン工具の非ガソリン化	新規購入100%非ガソリン化 (停電時対応機器を除く)														
○プラスチック製品の削減	生分解性資器材の導入														
○自転車利用の推進	シェアサイクルポートの誘致・適正な駐輪場の整備（ニーズのある公園100%）														

「公益財団法人東京都公園協会 SDGs 宣言」		
自分ではじめる、地域とつなぐ、公園 水辺から		
わたしたちは、SDGsの様々な課題に応え、東京の魅力を向上する緑と水の空間を生み出します。		
 目標 3: 公園や水辺を取り巻く人々のニーズを捉え、誰もが健やかに憩える場をつくり出します。	 目標 11: 防災力を高め、地域の人々とのつながりを深め、安心できる場所をつくり出します。	 目標 15: 四季折々の美しい緑と水を守り育みます。

私たちは「公益財団法人東京都公園協会 SDGs 宣言」により、指定管理者としての社会的責任をより進化させ、持続可能な社会の実現に貢献して参ります。

2 人員配置計画等

(1) 人員配置計画

ア 総括表 (単位：人)

管理組織(公園名等)	雇用形態			備考
	常勤職員	非常勤職員	その他（具体的に）	
本社等 統括部署	10	0		丘陵地レンジャーを含む
長沼公園	0	1		桜ヶ丘公園による一体管理 臨時職員 2 名は平山城址公園・長沼公園兼務
平山城址公園	0	1		桜ヶ丘公園による一体管理 臨時職員 2 名は平山城址公園・長沼公園兼務
小山田緑地	2	2		
小山内裏公園	2	3		
桜ヶ丘公園	2	3		長沼公園・平山城址公園を一体管理
計	16	10		

※各管理組織の雇用形態の内訳を記入してください。常勤とは週 40 時間程度勤務し貴団体が複数年にわたり雇用する職員とします。
非常勤職員は、パート、アルバイトなど臨時に契約する職員とします。
※「本社等」の欄には、貴団体の本社等統括組織に配置する公園管理に係る人員を記入してください。
※管理所のない公園については、備考欄にどのような体制をとるか記入してください。（〇〇公園管理所で対応、公園外に拠点を設置など）

イ 公園別内訳 【本社等 統括部署】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、 実務経験年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	その他 （具体的に）		
管理 所配置 人員	グループ長	本グループの代表責任者、東京都等の関係機関に対する統括責任者	公園管理のマネジメント経験、救命講習修了	○	－	－		40	
	SC 統括	業務責任者、東京都等の関係機関との事業調整窓口、本社・SC 業務の統括	公園管理経験、救命講習修了	○	－	－		40	
	SC 統括（維持）	維持担当業務責任者、東京都等の関係機関との事業調整窓口、本社・SC 業務の統括	公園管理経験、救命講習修了、公園等工事の施工等経験	○	－	－		40	
	プロジェクト コーディネーター	広報、パートナーシップ、利用促進、新規取組等	公園管理経験、救命講習修了、エリアマネジメント経験	○	－	－		40	
	工事担当者	施設補修、樹木剪定等の工事設計・施工管理等	救命講習修了、公園等工事の施工等経験	○	－	－		40	
	事務担当者	グループの管理運営業務全般のサポート等	事務・PC 操作等経験	○	－	－		40	
	丘陵地レンジャー	レンジャー業務（生物多様性に係る保全、維持管理、調査、広報、都民協働、環境教育等） 担当公園の管理に係る業務	公園管理経験、救命講習修了、レンジャー業務に必要な知識・経験	○	－	－		40	小山内裏公園 担当
	丘陵地レンジャー	レンジャー業務（生物多様性に係る保全、維持管理、調査、広報、都民協働、環境教育等） 担当公園の管理に係る業務	公園管理経験、救命講習修了、レンジャー業務に必要な知識・経験	○	－	－		40	小山田緑地 担当
	丘陵地レンジャー	レンジャー業務（生物多様性に係る保全、維持管理、調査、広報、都民協働、環境教育等） 担当公園の管理に係る業務	公園管理経験、救命講習修了、レンジャー業務に必要な知識・経験	○	－	－		40	桜ヶ丘公園 担当
	丘陵地レンジャー	レンジャー業務（生物多様性に係る保全、維持管理、調査、広報、都民協働、環境教育等） 担当公園の管理に係る業務	公園管理経験、救命講習修了、レンジャー業務に必要な知識・経験	○	－	－		40	桜ヶ丘公園 担当
委 業務 託				－	－	－			

※1 枚 1 公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準 1 か月分：様式任意）

イ 公園別内訳 【長沼公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、 実務経験年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
				常 勤	非常勤	委 託	その他 （具体的に）		
配置 管理 人員	パークスタッフ	（平山城址公園兼務） 【園地・利用サービス】 巡回、施設点検、直営作業、利用指導等	救命講習修了、施設管理、 または類似業務経験者	－	○	－		30	桜ヶ丘公園が 一体管理
	パークスタッフ	（平山城址公園兼務） 【園地・利用サービス】 巡回、施設点検、直営作業、利用指導等	救命講習修了、施設管理、 または類似業務経験者	－	○	－		30	
委託 業務	巡回警備	夏季・年末年始巡回警備業務		－	－	○			

※1 枚 1 公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。
※職員一人ごとに記入してください。
※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。
※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。
※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。
※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。
※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準 1 か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

イ 公園別内訳 【平山城址公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、 実務経験年数等	雇用形態				一週間の 勤務時間	備考
				常 勤	非常勤	委 託	その他 （具体的に）		
配置人員 管理所	パークスタッフ	（長沼公園兼務） 【園地・利用サービス】 巡回、施設点検、直営作業、利用指導等	救命講習修了、施設管理、 または類似業務経験者	－	○	－		30	桜ヶ丘公園が 一体管理
	パークスタッフ	（長沼公園兼務） 【園地・利用サービス】 巡回、施設点検、直営作業、利用指導等	救命講習修了、施設管理、 または類似業務経験者	－	○	－		30	
委託業務	巡回警備	夏季・年末年始巡回警備業務		－	－	○			

※1 枚 1 公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。
※職員一人ごとに記入してください。
※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。
※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。
※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。
※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。
※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準 1 か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

イ 公園別内訳 【小山田緑地】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、 実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常 勤	非常勤	委 託	その他 （具体的に）		
管理所配置人員	SC 長	管理運営責任者	公園管理運営士、防火・防災管理講習修了、救命講習修了、公園管理経験 3 年以上	○	－	－		40	
	副 SC 長	業務責任者 事業推進責任者、維持管理責任者	公園管理運営士、救命講習修了、広報、催事等経験者、公園管理経験1年以上	○	－	－		40	
	パークスタッフ	【園地・利用サービス】 巡回、施設点検、直営作業、利用指導等 SC 受付補助等	救命講習修了、施設管理、または類似業務経験者	－	○	－		40	
	パークスタッフ	【園地・利用サービス】 巡回、施設点検、直営作業、利用指導等 SC 受付補助等	救命講習修了、施設管理、または類似業務経験者	－	○	－		40	
	丘陵地レンジャー（統括部署所属/小山田緑地担当）			○	－	－		40	
業務委託	巡回警備	日中・夏季・年末年始巡回警備業務		－	－	○			

※1 枚 1 公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準 1 か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

イ 公園別内訳 【小山内裏公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、 実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常 勤	非常勤	委 託	その他 （具体的に）		
管理所配置人員	SC 長	管理運営責任者	公園管理運営士、防火・防災管理講習修了、救命講習修了、公園管理経験 3 年以上	○	－	－		40	
	副 SC 長	業務責任者 事業推進責任者、維持管理責任者	公園管理運営士、救命講習修了、広報、催事等経験者、公園管理経験1年以上	○	－	－		40	
	パークスタッフ	【園地・利用サービス】 巡回、施設点検、直営作業、利用指導等 SC 受付補助等	救命講習修了、施設管理、または類似業務経験者	－	○	－		40	
	パークスタッフ	【園地・利用サービス】 巡回、施設点検、直営作業、利用指導等 SC 受付補助等	救命講習修了、施設管理、または類似業務経験者	－	○	－		40	
	パークスタッフ	【園地・利用サービス】 巡回、施設点検、直営作業、利用指導等 SC 受付補助等	救命講習修了、施設管理、または類似業務経験者	－	○	－		30	
	丘陵地レンジャー（統括部署所属/小山内裏公園担当）			○	－	－		40	
業務委託	巡回警備	日中・夏季・年末年始巡回警備業務		－	－	○			

※1 枚 1 公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準 1 か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

イ 公園別内訳 【桜ヶ丘公園】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、 実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常 勤	非常勤	委 託	その他 （具体的に）		
管理所配置人員	SC 長	管理運営責任者	公園管理運営士、防火・防災管理講習修了、救命講習修了、公園管理経験 3 年以上	○	－	－		40	長沼公園・平山城址公園を含む
	副 SC 長	業務責任者 事業推進責任者、維持管理責任者	公園管理運営士、救命講習修了、広報、催事等経験者、公園管理経験1年以上	○	－	－		40	長沼公園・平山城址公園を含む
	パークスタッフ	【園地・利用サービス】 巡回、施設点検、直営作業、利用指導等 SC 受付補助等	救命講習修了、施設管理、または類似業務経験者	－	○	－		40	長沼公園・平山城址公園を含む
	パークスタッフ	【園地・利用サービス】 巡回、施設点検、直営作業、利用指導等 SC 受付補助等	救命講習修了、施設管理、または類似業務経験者	－	○	－		40	長沼公園・平山城址公園を含む
	パークスタッフ	【園地・利用サービス】 巡回、施設点検、直営作業、利用指導等 SC 受付補助等	救命講習修了、施設管理、または類似業務経験者	－	○	－		30	長沼公園・平山城址公園を含む
	丘陵地レンジャー（統括部署所属/桜ヶ丘公園担当）			○	－	－		40	長沼公園・平山城址公園を含む
	丘陵地レンジャー（統括部署所属/桜ヶ丘公園担当）			○	－	－		40	長沼公園・平山城址公園を含む
業務委託	巡回警備	日中・夏季・年末年始巡回警備業務		－	－	○			

※1 枚 1 公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準 1 か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

ウ 職員ローテーション表 【本社等 統括部署】

[illegible]

ウ 職員ローテーション表 【長沼公園】

長沼公園	勤務時間	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水
桜ヶ丘公園SC長	40										○													○								○
丘陵地レンジャー	40	○							○				○									○						○				○
パークスタッフ	30	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		有		○		○		○		
パークスタッフ	30		○		○		○		○		有		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
総出勤数		2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2
行事等		(月初提出)	(レンジャー会議)														(グループ会議)										(防災訓練)					
※○：出勤者		有：有休																														

※桜ヶ丘公園と一体管理であるため、当日の責任者は桜ヶ丘公園 SC と同じとする

ウ 職員ローテーション表 【平山城址公園】

平山城址公園	勤務時間	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水
桜ヶ丘公園SC長	40										○													○								○
丘陵地レンジャー	40	○						○						○					○		○								○			
パークスタッフ	30	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		有		○		○		○		
パークスタッフ	30		○		○		○		○		有		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
総出勤数		2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1
行事等		(月初提出)	(レンジャー会議)														(グループ会議)										(防災訓練)					
※○：出勤者		有：有休																														

※桜ヶ丘公園と一体管理であるため、当日の責任者は桜ヶ丘公園 SC と同じとする

ウ 職員ローテーション表 【小山田緑地】

小山田緑地	勤務 時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
SC長	40	AM 出張	○	○		○	○			○	○		PM 研修	○		○	○	○		○		○	○		○	有	○			○	○	○
副SC長	40			○	○		○	○	○	PM 研修		○	○		○	○		○	○		○	○		○		○	○	○	○		有	○
丘陵地レンジャー	40	○	AM 本社		○	○	○	○		AM 本社		○		○	○	PM 研修	AM 本社		○		○	○		AM 本社			○	○		○	有	○
常勤職員出勤人数		2	2	2	2	2	3	2	1	3	1	2	2	2	2	3	2	2	2	1	2	3	1	2	1	1	3	2	1	2	1	3
パークスタッフ	40	○	○			○	○		○		○	○	○			○	有		○	○	○	○			○	○	○			○	○	○
パークスタッフ	40	有	○	○	○		○	○		○	○			○	○		○	○		○		○	○	○	○			○	○		○	
非常勤職員出勤人数		1	2	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1
総出勤数		3	4	3	3	3	5	3	2	4	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	5	2	3	3	2	4	3	2	3	3	4
行事等		月初提出	レンジャー会議				SC会議			パークミーティング	野球場整備							グループ会議		夜間パトロール		イベント					防災訓練					
防災無線訓練				■							■							■							■							■
※○：出勤者 有：有休		■：当日の責任者 ■：実施																														

※○：出勤者 ■：当日の責任者
有：有休 ■：実施

ウ 職員ローテーション表 【桜ヶ丘公園】

桜ヶ丘公園	勤務時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
SC長	40	AM出張	○		○	○	○	○			●	○	PM研修	○	○			○		○	○		○	●		○	有	AM出張	○			●
副SC長	40	○		○	○			○	○	○		○	○			○	○		○		○	○		○	○		○		有	○	○	○
丘陵地レンジャー	40	●	AM本社			○	○		●	AM本社		○	●		○	PM研修	AM本社	○			有	●	○	AM本社	○		○	●			AM本社	●
丘陵地レンジャー	40	●	AM本社	○	有		○	●		AM本社	○			●	○	PM研修	AM本社		●	○	●			AM本社		○		○	●	○	AM本社	
常勤職員出勤人数		4	3	2	2	2	3	3	2	3	3	2	3	3	3	3	3	2	2	2	3	2	2	4	2	2	2	3	2	2	3	3
パークスタッフ	40	○	○		○	○	○		○	○	有	○			○	○		○	○	○		○	○			○		○	○			○
パークスタッフ	40		有	○			○	○	○		○		○	○	○		○		○		○	○		○	○		○	○	○		○	○
パークスタッフ	30			○	○	○	○		有			○			○			○		○		○	○		○	○	○			○		
非常勤職員出勤人数		1	1	2	2	2	3	1	2	1	1	2	1	1	3	1	1	2	2	2	1	3	2	1	2	2	2	1	2	2	1	2
総出勤数		5	4	4	4	4	6	4	4	4	4	4	4	4	6	4	4	4	4	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	4	4	5
行事等		月初提出	レンジャー会議				S C会議								イベント			グループ会議		パークミーティング							防災訓練		夜間パトロール			
防災無線訓練				■							■							■							■							■

※○：出勤者 ■：当日の責任者 ●：平山城址公園・長沼公園に出張
有：有休 ■：実施

このページは空白です

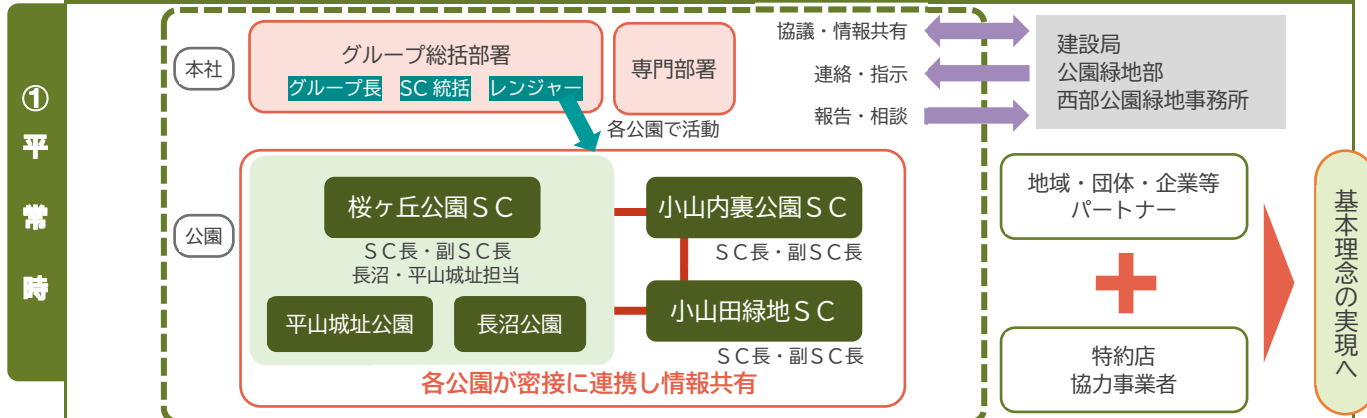
(2)組織体制・指揮命令系統と役割分担

組織的で明確な管理体制と指揮命令系統を構築し、関係各所と連携した円滑な管理運営により高い水準の公園マネジメントを推進し、多摩丘陵グループ地域の活性化を目指します。

緊急時や災害時には都立公園の「震災時利用計画」(案)に基づく組織的な初動対応と、防災機能の確実な発揮により、地域の避難場所としての役割を果たします。

1. 状況別の組織体制・役割分担

☀ 円滑な指揮命令系統と一体的な組織体制を確立



- ・小山田緑地、小山内裏公園、桜ヶ丘公園の公園管理所を、利用者が気軽に訪れ、インフォメーションや救護等のサービスを受けられるサービスセンター（SC）として運営します。
- ・SCには管理運営責任者としてSC長を配置し、地域に根差した公園の管理運営を実施します。
- ・長沼公園、平山城址公園は、桜ヶ丘公園が一体管理することで、利用状況や管理情報の迅速な収集を行い、利用者目線での管理運営を実施します。

- ・グループ内に複数名の丘陵地レンジャーを配置し、公園の枠を超えて連携しながら、生物多様性保全や普及啓発等に係る取組を推進します。
- ・公園緑地部、西部公園緑地事務所と随時事業調整のための協議を行うほか、緊密な報告・相談を通じて情報の共有に努めます。また、連絡・指示事項については適切かつ迅速に対応します。
- ・地元自治体、警察、消防等の関係機関や地域、団体、企業、特約店、協力事業者と連携し円滑な管理運営を行います。

☀ 機能的な役割分担を設定

- ・本社にグループ長を配置し、地域特性を踏まえた戦略的な公園運営、エリアマネジメント、事業推進を指揮・監督します。
- ・SC統括は、グループ長を補佐し、各公園と本社専門部署を束ねグループの事業推進を担います。
- ・本社は、グループの新規取組や専門業務、共通業務、グループ事業推進の強化・支援、適切な事業・予算執行の監理を担当します。

☀ 万全な防災体制

- ・高い防災力が評価されている協会独自の「震災対応マニュアル」を配備します。
- ・発災に備え、災害対策本部の立ち上げや全社職員が担当公園に参集する組織的な災害対応体制を整え、年間複数回実施する訓練で定着を図ります。
- ・土砂災害を含む気象災害について、独自のタイムラインに基づく事前の備えの徹底と、平常時からSC内に土砂災害警戒区域や避難所等を示すマップを掲出する等、利用者へ情報発信を行います。

☀ 正確な公金管理

- ・SC長を現金管理責任者とし、金銭等取扱業務に関する基本ルールの運用と本社とのダブルチェック体制、朝夕礼時に行う事務KYミーティングにより、窓口での公金徴収から振込、報告まで正確な事務処理を行います。

🌙 24時間の緊急連絡体制を確保

- ・警備会社による建物機械警備に加え、緊急連絡及び参集体制を常時整えます。
- ・夜間の事件事故等が発生した場合に備え、グループ長への即時情報共有と指揮命令を可能にする体制ならびに警察、消防、警備会社等と緊急連絡体制を構築します。
- ・夜間の気象災害に備え、事前に専門事業者との連絡体制を確保します。
- ・警察からの要請や年末年始、夜間イベント時等、施設管理上の支障が懸念される場合は、特別巡回体制を構築します。
- ・緊急案件が発生した場合は、職員が自宅から急行し、状況確認や措置対応等を東京都に報告します。

【夜間対応の実績】

- 夜間巡回対応
- 災害等緊急参集対応
- 事件事故対応 他



① 平常時

② 夜間

気象災害

- ・気象災害時、水災害時には「気象災害対策計画書」に基づき、気象災害対策本部を設置し、迅速に被害状況を把握し、利用者や地域の安全確保を最優先に対処します。
- ・気象情報会社の「気象警報等予測配信システム」導入でスピーディーな情報把握と関係者への共有を行います。
- ・公園を含む地域に土砂災害警戒情報に伴う避難指示が出た場合は、園内での掲示やSNS等で公園利用者に避難を促し、職員が模範となつて直ちに避難所への避難を行います。また、避難指示解除後は速やかにSC機能を回復し、園内被害状況への対応を行います。

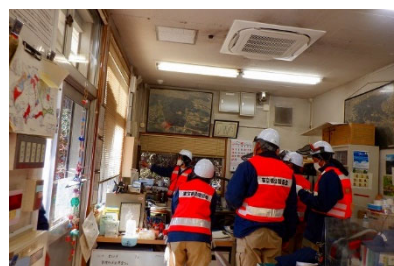
感染症流行

- ・感染症が流行した場合、東京都や保健所などの指示に基づき、各公園で感染拡大防止を徹底し利用者の安全を確保します。
- ・社会的影響の大きい事案については、本社に対策本部を設置し、東京都の指示のもと組織的に対応します。

(実績)新型コロナウイルス感染症対策本部会議関係機関と緊密に連携し、感染拡大を防止するための全社的な取組の決定機関を設置(令和2年3月)

震災

- ・「震災対応マニュアル」に基づき、全職員による災害対応体制を整えます。
- ・小山内裏公園は防災無線の拠点として、各公園の情報集約及び現場対策班の円滑な活動をサポートします。
- ・停電、ネットワーク不通などを想定し、MCA防災無線通信網等による複数の情報伝達手段を確保します。
- ・桜ヶ丘公園は、多摩市地域防災計画による広域避難場所として、多摩市の防災所管部署や地域住民等と連携した防災訓練等を実施し、地域の防災意識の向上や防災対策の強化に寄与します。



震災発生時

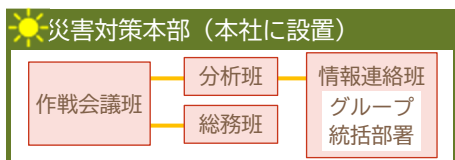
- ・震度に応じた初動対応を開始
- ・都の非常配備態勢時は全公園参集

震災発生直後～緊急体制解除

- ・震度に応じた職員参集
- ・災害対策本部、現場対策班立上げを行い、被害状況、避難者状況を緊急体制解除まで都と随時情報共有

復旧対応

甚大な被害の本格復旧に向けては、都の指示に従って実施



日中 <<>> 夜間

— MCA無線
— レスナビ

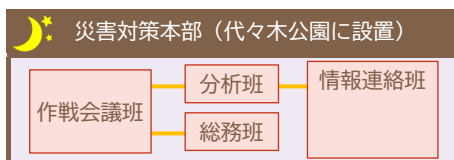
建設局
公園緑地事務所

情報共有

八王子市
町田市
多摩市

警察・消防

※桜ヶ丘公園は多摩市の広域避難場所として連携、市の防災施設運用に協力します。



(3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

公園業界をリードする公益法人として社会の利益増進に寄与するため、最適な人員体制と明確な役割分担の構築、各職員がいそいそと働くことのできる人材配置及び、能力向上のための育成を行います。

1. 人員体制の方針

「公の施設」管理者としての心構えや姿勢を持った人材、地域の活性化を生み出すコミュニケーション力やホスピタリティの高い人材、専門的・技術的な要求に対応できる人材など、豊かな発想と総合的な知識・理解力・実行力を有する協会職員により、利用者第一を基本としたサービス提供を行います。

人材確保	・教育機関や職業訓練校をはじめ、各所から熱意とスキルを持った多様な人材を採用 ・採用機会の公平・公正を確保 ・現グループの現場職員等を継続雇用し、事業の継続性を担保
人材配置	・都市公園や自然公園等の多様な人員配置ローテーションで公園の新しい魅力を創出 ・多様な利用ニーズに応えるため、職員の持つ個性を組織の強みとするダイバーシティマネジメントを推進
人材育成	・長年のノウハウを踏まえた公園管理の総合的スキルを育成する継続的な研修・OJT ・都民の信頼に応える行政の代行として、公金管理等の心構えや姿勢を持つ人材を育成 ・専門性・スキル向上のため国家資格等の資格取得を奨励 ・地域連携を促進するための地域の歴史・文化の知識習得をサポート

2. 人員体制の取組

(1) グループの人材配置・役割分担

明確なミッションのもと、事業成果を高める本社とSCの一体的な管理運営体制を構築します。



グループ統括部署	サービスセンター
○各公園をとりまとめ、グループ事業を推進する適切な判断力と機動力を有する人材を配置します。 ○丘陵地レンジャーは専門業務を中心に、グループ事業全体を推進します。	○日々の公園管理・運営の基幹業務を担うスタッフを配置し、利用者にサービスを提供します。
グループ長 ・本グループの代表責任者 ・東京都等の関係機関に対する統括責任者 他	SC長 ・公園の代表責任者 ・管理運営全般に係る業務統括 他
SC統括 ・本グループの業務責任者 ・東京都等の関係機関との事業調整窓口 ・本社・SC業務の統括 他	副SC長 ・SC長を補佐、公園の管理運営副責任者
SC統括（維持） ・本グループの業務責任者（維持担当） ・東京都等の関係機関との事業調整窓口 ・本社・SC業務の統括 他	パークスタッフ 【園地・サービス業務】 ・公園施設の維持管理 ・園内の巡回点検 ・植物管理 ・生物多様性の取組 ・広報 ・窓口受付 ・利用者サービス ・SC事務 他
プロジェクトコーディネーター ・広報 ・パートナーシップ ・利用促進 ・新規取組 他	
丘陵地レンジャー 【レンジャー業務】・本グループの生物多様性の計画・調整・情報共有 ・保全活動 ・モニタリング調査 ・環境教育 ・普及啓発 ・パートナーシップ 【SC業務】・管理運営全般に係る業務補助	

(2) 多様な人材の活躍を推進する取組

性別・年齢・国籍などのそれぞれが持つ能力や特性を活かして活躍できる環境を整備します。また、障がい者雇用の推進、残業の削減、育児・介護休暇取得の推奨などワークライフバランス向上を推進します。

次世代育成支援対策推進法に基づく取組

- ・学校等の休業時に安心して働き続けられる制度の導入
- ・学校等の行事に参加しやすい年間休日制度の導入
- ・テレワークを本社を中心に導入し、通勤にかかる負担の軽減

数値目標

●管理職に占める女性比率

目標 30%以上
令和10年

実績 24.9%
令和4年

●障がい者雇用率（法定雇用率）

目標 2.3%以上
令和10年

実績 2.4%
令和4年

達成中

(3) 技術・能力向上の取組

部署・担当		求められる技術・能力	技術・能力向上の取組例	
			研修	OJT・支援等
全職員共通		公の施設の適正管理及び理念を実現する公園運営管理に必要な利用者サービス、パークマネジメント、維持管理、防災対応等の基本能力	○接遇 ○コンプライアンス ○情報セキュリティ ○人権 ○ハラスメント ○安全衛生 ○救命技能・応急手当 ○SDGs ○指定管理者制度 ○防災 ○メンタルヘルス	○資格取得支援（公園管理運営士） ○業務改善提案制度 ○技術業務・研究体験発表会
サービスセンター	SC職員共通		○SC業務 ○安全防犯 ○契約事務 ○ダイバーシティ・インクルージョン	
	SC長 副SC長		○パークマネジメント ○組織マネジメント ○工事安全管理	○グループ会議 ○SC会議 ○パークミーティング
	パークスタッフ	【利用サービス】 窓口対応、公園案内やスポーツ施設受付、イベント開催、 【園地サービス】 公園施設の維持管理及び植物管理、防犯、清掃、巡回等の能力	○サイバーセキュリティ ○スポーツ施設予約システム 操作方法等（東京都主催） ○維持管理業務（園地・建物・電気・トイレ、樹木、植栽、遊具、防災施設）	
グループ統括	グループ長 SC統括 SC統括（維持）	グループ事業をマネジメントする能力	○パークマネジメント ○組織マネジメント ○プロジェクトマネジメント	○事業戦略会議 ○グループ会議 ○専門学会、セミナー等
	プロジェクト コーディネーター	公園とひと・まちをつなぐ広報・利用促進、ワークショップ等の能力	○SNSスキルアップ ○パートナーシップ ○プレゼンテーション	○パートナーシップ会議 ○グループ会議 ○専門学会、セミナー等
	丘陵地レンジャー	生物多様性保全や普及啓発、環境教育等の能力	○生物多様性 ○インタープリテーション ○都民協働 ○広報・PR	○グループ会議 ○レンジャー会議

(4) グループを支える専門部署と有資格者

本社専門部署には有資格者等各分野の専門スキルを有する人材を配置し、事業水準を向上させます。

本社専門部署			
事業管理 ○品質管理 ○事業戦略	業務サービス ○人事・公金・徴収等共通事務の実施	プロジェクトコーディネーター ○広報 ○パートナーシップ ○利用促進 ○新規取組	防災推進 ○防災対応の総合調整 ○全体訓練
情報システム ○DX等の推進	工事担当 ○工事等維持管理共通業務	SDGs ○SDGs関連事業の推進	安全防犯 ○警察経験者による適正化 ○防犯対策の推進

専門資格例 ※（ ）内は人数

【国家資格】

1級・2級造園施工管理技士(55)、1級・2級土木施工管理技士(17)、一級・二級建築士(6)、一種・二種・三種電気主任技術者(2)、一種・二種電気工事士(6)、監理技術者(4)

【民間資格】

公園管理運営士(140)、防災士(122)、樹木医(6)、ビオトープ管理士(6)、プロジェクトワイルド(20)、自然観察指導員(16)

3 運営管理計画 (1) 都立公園の管理運営についての実施方針と具体的な取組

多摩丘陵グループの周辺地域は、住民の高齢化による人口減少の傾向にありましたが、近年、都心への通勤・通学圏内にありながら、昔ながらの里山景観や文化が息づき、生物多様性豊かな環境があることが再評価され、子育て世代や若者が少しずつ増えています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大や東京 2020 大会の開催などにより、都立公園に求められる役割にも大きな変化が起きています。

私たちは、利用者や地域等の声を吸い上げ、分析することにより、常に時代の一步先を見据え、さらに多様化するニーズに柔軟に応える事業を展開していきます。そして、多摩丘陵グループの公園が、誰もが居心地のいい時間を過ごし、力を合わせて大切に守り、いつでも帰ることのできるみんなの「心のふるさと」として心に残る場所となるよう、その魅力を最大限に活用した質の高い利用者サービスを提供します。

1. 基本理念の実現に向けた3つの実施方針

多摩丘陵の豊かな自然環境・里山環境を守り伝える取組を土台に、みんなの「心のふるさと」として、子どもから高齢者まで、地元でも都心からでも、「人生のどのステージでも」活躍できる居場所の創出や、新しい生活様式など時代の変化にも柔軟に対応し、多様なニーズに応える取組を実践します。

実施方針1

みんなが“キラキラ”居場所づくり
～公園を誰もが楽しみ、活躍できる場に！～

親子向けプログラムや読書体験など、家族みんなで楽しく過ごせる子どもたちと保護者の居場所づくり

ボランティア活動や参加型イベントなど、若者～高齢者まで多世代が活躍できる居場所づくり

インクルーシブな自然遊びやパラスポーツ体験、DXを活用した多様な手法で、誰もがともに遊び楽しめる居場所づくり

実施方針2

みんなで“ワイワイ”里山お宝大発掘
～新たなニーズと多様な利用に応えます！～

マイクロツーリズムの推進やワークスペースの設置等、多摩丘陵の新たなニーズに応える価値を発掘

研究機関の調査・研究フィールドとしての活用を推進、結果を公園の魅力アップにつなげ、里山環境の新たな活用の“タネ”を発掘

防災訓練や激甚化する気象災害に対応した情報の発信等、地域の中での安心・安全な環境の再発掘

実施方針3

みんなと“スクスク”育む豊かな生物多様性環境
～丘陵地レンジャーチームが多摩丘陵全体を見守ります！～

丘陵地レンジャーを中心に、各公園で計画的な維持管理作業やモニタリング調査を継続し、しっかり生物多様性豊かな環境を守ります

ボランティアや地域と一緒に協働で保全活動を行い、子どもたちにも体験の場を提供し、未来へ向けて豊かな里山環境を育てます

自然観察会の開催やSNSでの情報発信に加え、生きものの情報のアーカイブスを構築して、多摩丘陵の豊かさを未来へ継承します

2. 3つの実施方針を踏まえた各公園の取組概要

誰もが“キラキラ”活躍し、多様な人々と“ワイワイ”魅力を発掘し、人も自然も“スクスク”育つ—そんな多摩丘陵グループの未来を見据え、各公園の特性を活かし、地域の大人や子どもを巻き込んで、みんなの力で「心のふるさと」の魅力を引き出す取組を進めます。

特性	5年後に目指す姿	取組概要
長沼公園	変化に富んだ地形が織りなす豊かな生態系 《すぐそこにある行楽地》 	里山×自然 ◇アクセスの良さや特徴的な地形、平山城址公園とひと続きの生態系等を活かし、沿線鉄道会社と連携して、<u>都心からの来園を促進</u>します。 ◇ボランティアやNPOとの協働をさらに推進し、カタクリやシバヤナギ等の<u>希少種保全</u>や「<u>多摩丘陵いきものアーカイブス</u>」等での発信に取り組みます。
平山城址公園	自然環境と史跡の残る都市景観の両立 《歴史が息づく散策スポット》 	里山×歴史 ◇ボランティアやNPOと協働で林床整備や外来種駆除等を行い、<u>希少種の生育環境や景観、眺望等の公園の魅力</u>をさらに<u>向上</u>させます。 ◇長沼公園とひと続きの生態系や地域に残る史跡等を活用し、沿線鉄道会社や周辺施設等と連携して、歴史愛好家等の<u>新たな来園を促進</u>します。
小山田緑地	雑木林、草地、水辺からなる良好な里山環境 《未来へ残す多摩の原風景》 	里山×暮らし ◇地域住民と取り組む<u>田んぼ活動</u>や地産地消マルシェ“<u>小山田緑市</u>”を通じて、地域に残る里山暮らしの文化や豊かな環境を<u>子どもたちに継承</u>します。 ◇運動施設や里山環境を活用したセルフウォーキングや親子サッカー教室等、誰もが気軽に参加できる<u>健康づくりの場としての利用</u>を促進します。
小山内裏公園	多様な人々と自然がともに生きる憩いの空間 《都市の中のサンクチュアリ》 	里山×交流 ◇生物多様性保全をボランティアや子どもたちと協働で進め、<u>近隣大学と連携したプログラムの開発等により、地域の貴重な財産としての魅力を向上、発信</u>していきます。 ◇地域住民が主体的に企画、運営する“<u>いきいき交流の集い</u>”を拡充し、幅広い世代が同じ体験を共有できる<u>居場所づくり</u>を促進します。
桜ヶ丘公園	防災機能も備えた、里山環境豊かな都市公園 《いつでも帰りたくなる場所》 	里山×安心 ◇ボランティアと協働の雑木林保全、田んぼ活動、地域と連携した<u>桜の後継樹育成や防災訓練</u>等を、<u>地域の子どもたちとも一緒に</u>なって取組みます。 ◇里山ならではの多様なプログラムを楽しめる“SATOYAMAアウトライブ”やパラスポーツ体験等を通じて、誰もが気軽に訪れることができる<u>インクルーシブな公園づくり</u>を促進します。

(2) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組

私たちは生物多様性豊かな多摩丘陵ならではの公園特性、地域特性、法令等を踏まえた上で、「みんなの『心のふるさと』～人生とともに歩む公園」の実現に向け、多様な属性を持つ利用者のニーズに柔軟に対応する魅力的なプログラムや質の高いサービスを継続的・安定的に提供し、公園利用の促進を図ります。また、DXの活用を推進し、感染症流行時等においても公園の魅力を最大限に活用できるように努めます。

公園凡例： 小山内裏公園 小山田緑地 桜ヶ丘公園 長沼公園 平山城址公園

1. 利用者サービス水準向上のための取組

(1) 「いつでも」「どこでも」「だれでも」情報発信

幅広く多様な利用者に多摩丘陵の5公園を楽しんでいただくため、アクセシビリティ（情報の入手しやすさ・わかりやすさ・見やすさ等）に配慮した多彩な情報発信を行います。

いつでも

新鮮で柔軟な情報発信

- ・HP、SNS、ニュースレター等多様な手段での情報発信
- ・季節の動植物を紹介するセルフガイドシート
- ・見ごろ情報や混雑状況をリアルタイムに伝える「公園情報ダッシュボード」



ダッシュボードイメージ

どこでも

様々な場所での情報発信

- ・園内活動中の丘陵地レンジャーによる「その場でガイド」
- ・連携先でのパンフレット等配布
- ・パネルや写真等の出張展示



だれでも

インクルーシブな情報発信

- ・「UDデジタル教科書体」やピクトサイン、色調等、ユニバーサルデザインを取り入れたHPや刊行物
- ・窓口対応や刊行物、HPの多言語化
- ・アプリ等を活用した字幕や音声による解説・展示物
- ・投稿型アプリ「WheelLog!」との連携によるバリアフリー情報提供



(2) 公園利用をもっと便利に 公園DX推進

利用者の利便性の向上や安心・安全な公園環境の提供のため、様々なシーンでDXを推進します。

公園利用のWEB申込

- ・イベント参加やドッグラン登録のオンライン申込

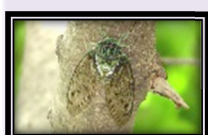
従来の受付方法






防災デジタルサイネージの活用

- ・ふだんは旬の情報を発信
- ・万が一の時には、地域防災情報をリアルタイムでお知らせします。






運動施設管理へのDX活用

- ・安心かつ快適な環境でスポーツを楽しんでいただけるよう、運動施設の維持管理にAI搭載機器を導入します。

【AI技術活用の例】
ロボット草刈機を使用した運動施設管理（光ヶ丘公園ほか）



(3) 多摩丘陵の生物多様性の「見える化」 多摩丘陵いきものアーカイブス

これまでのモニタリング調査で蓄積した動植物のデータをデジタルアーカイブスとして保存。多摩丘陵のリアルタイムの生物多様性情報を、いつでも、どこでも検索できるようにします。

公式サイトと連動した動植物情報のリアルタイム発信

- ・各公園で保存している動植物のデータを、GIS等を活用してデジタル化し、「多摩丘陵いきものアーカイブス」に登録
- ・公式サイト「多摩丘陵へ行く！」で検索可能に
- ・丘陵地レンジャーのモニタリング調査や外部調査機関・教育施設等の調査研究の成果を随時更新

来園したい気持ちになる！ 帰った後も楽しめる！
利用者の気持ちに寄り添うサービスとして展開。

検索結果を調査、研究にも活用いただけます！



2. 公園利用促進のための取組

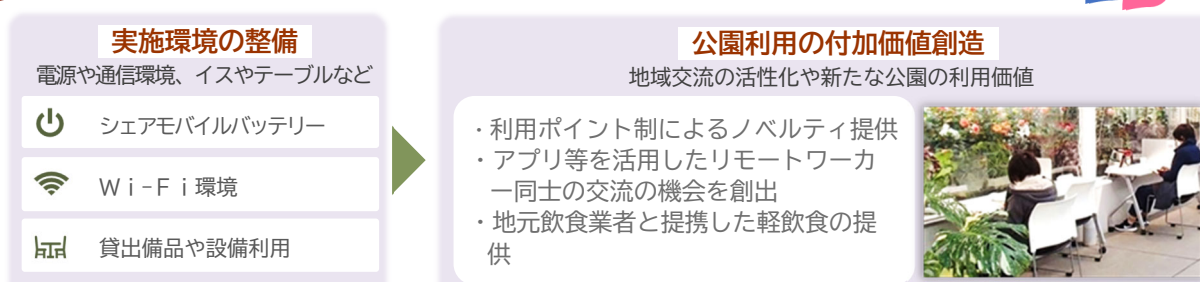
(1) 多摩丘陵の里山環境や文化に学び、触れる 里山カレッジ事業

多摩丘陵が有する魅力ある自然や文化・歴史資源を活かした取組を、以下のとおり展開します。

	取組・内容	感染症の流行等により 集合型イベント実施が 困難な場合の代替案	実施 公園
大人 向け	里山さんぽ 自然観察会		
	夜の昆虫観察会		内 内 桜 長 平
	サンクチュアリツアー	セルフガイドシート やHP、Twitter 等で 情報発信	
	長沼・平山城址を歩く 小山田・小野路里山ウォーキング		緑
子ども 向け	キッズレンジャー体験 	職員やボランティア が代替実施（通常業務 として実施）	全公園
	さとやまっこ クラブ		
誰で も	里山SDGs教室	作成キットの配布や アプリコンテンツに より実施	内 緑 桜
	セルフウォーキングプログラム 誰でもできるスポーツ体験 	距離表示やアプリコ ンテンツにより実施 パラスポーツ入門プログラム提供	

(2) 都心から至近のワーケーション環境整備 里山オフィス

多摩丘陵の豊かな自然環境の中でワーケーションやテレワークを行える環境を整備し、withコロナの新たなライフスタイルに対応した公園利用を提案します。



(3) 多摩丘陵を研究・調査、結果を公園魅力アップに還元！ 多摩丘陵アカデミックチャレンジ

- 学生向け **研究成果を公園で活用** 
- ・多摩丘陵の生物多様性豊かな公園環境を、研究・調査フィールドとして積極的に発信
 - ・これまでの公園協会の専門家とのつながりを活かし、地域で研究を行う若手研究者や学生の調査・研究を強力サポート（ヒアリング協力、資料提供、関係機関調整など）
 - ・研究、調査結果は、保全活動、イベント、広報など、公園の様々なシーンに活用

令和3年度実績（小山内裏）

東京都立大学学生と観光資源としてのサンクチュアリ活用検討会開催

「多摩地域マイクロツーリズムプロジェクト」で提案

令和4年度 サテライトサンクチュアリ設置へ！



(4) 私たちに寄り添い生きる命のために ペットイベント

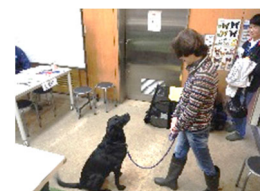
ドッグランボランティアと連携しイベント開催。飼い主同士の交流機会や安心して利用できる環境を提供します。

飼い主交流やマナーアップを促進

 犬のしつけ教室  わんわん運動会 

※感染症の流行等により集合しての実施が困難な場合は動画の配信等で代替します。

内
桜



(3) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

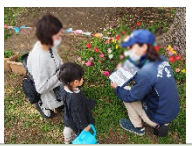
要望・苦情に対する対応プロセスを見える化し、公園管理に反映させることで、利用者満足度（CS）を更に高め、高い利用者体験（CX）に繋がります。

1. 要望・苦情を管理運営に活かす仕組み

①情報収集

要望・苦情は魅力向上のチャンス！

- ・従来の対面コミュニケーションに加え、ICTを活用して様々な利用者層に対応するチャネルを設け、時代の変化に対応した新しいコミュニケーション方法により、多様化する幅広いニーズを汲み取ります。
- ・安全安心に係る緊急性の高い情報は、直ちに警察・消防や東京都に連絡の上、迅速に対応します。

コミュニケーション	対面サービス				
	 窓口・電話	 職員巡回	 イベント・ボラ活動	 ご意見箱	 顧客満足度調査
ICTサービス	 都立公園ポータル	 ソーシャルアプリ	 チャットボット	 SNSマーケティング	 通報システム
	HPの問い合わせフォームにより、24時間利用者の声を受付	コラボレーションツール導入により、パートナーシップ活動を促進	チャットボットにより、利用案内やルール等を24時間自動応答	SNS上の様々な公園情報をAIが自動収集・分析・報告	公園の不具合や異常を、利用者が通報し早期発見へ

②情報蓄積

すぐに参考情報にアクセス！

- ・「利用者の声登録システム」によるデータベース化で、これまでの類似案件、対応履歴などの参考情報にすぐにアクセスでき、データ分析をもとに質の高い公園管理につなげます。

③対話・対応

とことん話し合います！

- ・当該公園のSCが関係法令及び公園ルール等に基づき、公正、迅速、誠意をもって適正に対応します。事案によっては統括部署及び本社専門部署と連携します。
- ・よりよい公園利用のためルールの変更等を伴う場合は、現状確認のための調査や、関係団体等の利害関係者との話し合いの場を持ち、主体的に解決に導きます。

パークミーティングを積極的に開催します！

公園利用者、住民、ボランティア、近隣企業、教育機関等、公園に関わる多様な主体と管理運営について議論し、みんなで公園を作り上げる場としてパークミーティングを開催します。提案等の意見は、関係者との合意形成や東京都との調整等を経て、公園の管理運営に反映します。



解決まで
じっくり対応

⑤管理運営の改善

「禁止」から「できるために」

- ・これまでの「制限・禁止」を前提とした管理から、多様な利用ニーズにできるだけ応えていくためのポジティブワードを活用した掲示物の作成や条件づけ等、ルールの整理を行います。



④検証

利用したくなる公園に向けて改善！

- ・対応終了後も、対応内容の検証を行い、PDCAサイクルにより継続的な管理運営の改善につなげます。
- ・類似苦情の防止のために随時マニュアルの改訂や、他グループの公園にも「利用者の声登録システム」で対応策を共有し、管理水準を向上させます。

管理運営に
フィードバック

NEW ソーシャルアプリ	NEW チャットボット	NEW SNSマーケティング	NEW 通報システム
電話やメールだけでなく、もっと簡単に連絡をとりたい。 リモート会議やチャット機能等を活用して、SCと団体等のコミュニケーションを活性化させます。 	基本情報はWEBサイトで、問い合わせができます。 すでに霊園事業で実績のあるチャットボットを公園に導入し、問い合わせの多い利用案内や占用許可等にお答えします。 霊園案内BOT 14:03 承継とは何ですか？ 14:03 受け継ぐこと。継承。権利または義務を引き継ぐことです。 	SNS等の情報や口コミを管理運営に反映させます。 評価の高いものや適正化対応が必要な事案等を、AIが自動収集・分析して管理運営にフィードバックします。 	施設に不具合が…。知らせなきゃ！ SNSアプリ「LINE」を活用し、GPS位置情報や状況写真とともに公園施設等の不具合箇所を通報します。 

3. 利用者要望の反映事例

Case1

社会的影響の大きな事案への対応

新型コロナウイルス感染拡大時は、東京都の要請に対応し、施設の一部閉鎖や利用制限の周知を丁寧に行い、安心安全な利用空間を維持しました。一方、新しい生活様式を受けて、健康維持や自然、地域とつながる場としてのニーズがこれまで以上に多様になりました。

私たちは利用者の声をキャッチし、WEB予約システム導入や、感染症対策を徹底したボランティア活動の継続など、安全に楽しく利用できる公園づくりを進め、子どもから大人まで多くの公園利用のニーズに応えました。



「コロナ禍でも
安心安全に
利用したい！」

Case2

発展的なボランティア活動

小山内裏公園では、樹木管理や里山環境の保全のため多くのボランティアの方とともに協働を進めていますが、更にレベルアップした公園の管理運営に携わりたいという要望を受けました。その要望に応えるため、丘陵地レンジャーが育成指導し、レンジャーの業務やガイドツアーの運営をサポートしていただきました。これまでの協働による維持管理の取組に加えて、公園運営の参画まで一歩踏み込んだボランティア活動のモデルとなっています。



「植物管理だけでない
ボランティアをしたい！」

Case3

地域の暮らしと結びついた樹木管理

長沼公園・平山城址公園には管理所がありませんが、毎日の巡回業務を通じてリアルタイムの情報収集を行い、周辺の地域の人々が安心して暮らし、利用できる環境整備に応えています。

長沼公園では、竹の無秩序な繁茂による隣接住宅地の日照阻害を改善するため、竹林の伐採を行いました。林床のカタクリ等の希少種に配慮した施工方法を検討し、生育環境を激変させないような計画を立てて実施しました。また、大雨時の園外への流水を防ぐため、定期的な側溝周辺清掃や土嚢設置などを行い、平時からのきめ細やかな対策を行いました。

平山城址公園では、入口の入りやすさ、見通しのよさを向上、利用者に安心感を与えるササ刈りや常緑樹の枝打ちや伐採を行いました。

さらに木漏れ日が差し込む明るい環境となり、キンランなどの希少種の生育が期待できる生物多様性環境の向上にもつながりました。



「魅力的な公園のもとで安心して暮らしたい！」

(4) 都民協働や地域コミュニティとの連携による公園の魅力や地域の価値の向上につながる取組

私たちは多摩丘陵の里山環境を活かし、地域住民やボランティアとの協働、自治体、近隣施設等と連携により、「心のふるさと」として地域の人々の思い出に残るような魅力的な取組を数多く手がけてきました。

今後は、これまで以上にボランティアや地域との連携を深め、誰もが人生の様々なステージで訪れ、親しみ、活躍できる場としての公園の魅力を高め、周辺地域全体の魅力や回遊性の向上に貢献します。

公園凡例：  小山内裏公園  小山田緑地  桜ヶ丘公園  長沼公園  平山城址公園

1. 地域コミュニティとの連携

(1) 里山環境を生かした活動・交流の場 地域住民の居場所づくり

丘陵地ならではの環境や多様な主体との連携を活かし、地域住民の居場所づくりを促進します。

いきいき交流の集い

多世代が交流する地域の居場所づくり

ボランティアや地域住民が主体となって、コンサートや乳幼児向けプログラムなど、多世代が交流できる場をさらに拡充

内



SATOYAMA アウトドアライフ

里山環境ならではの非日常体験

発生材を活用した体験型アクティビティを中心に、地域の協力者とともに、都市の中の里山で過ごす新しい休日提案。

桜



(2) 多摩丘陵里山歳時記 里山文化に触れる大規模都民協働プログラム

地域住民やボランティアが主体となり、年間を通じて里山保全活動を行います。その集大成として、都心や遠方から訪れた公園利用者とも交流できるイベントを季節に合わせて実施します。

地域と育む サクラの保全活動



多摩丘陵さくらまつり

地域住民やボランティアと協働によるコンサート、畑体験、自然遊び、昔遊び、多摩商工会議所と連携したウォークラリー等を実施

内 桜



ボランティアと守る 里山（雑木林・田んぼ）環境



収穫祭 (小山田・小山内裏) どんぐり祭り・餅つき (桜ヶ丘)

地域住民やボランティアが交流しながら、里山の恵みを肌で感じ、体感し、ふるさとに帰ったような気持ちになれる1日

内 桜 緑



地域やボランティアと力を合わせて 20 年

どんど焼き

内

❶ 里山の環境整備で発生するタケ、ササ、稲わら等を活用
❷ 里山暮らしの文化を伝える小正月の伝統行事として定着

コロナ禍でもお正月飾りの「お焚き上げ」は継続

令和 8 年度の第 25 回開催に向け、地域の皆様の想いをつなげます！



(3) 万が一の時に備えて 地域連携防災イベント

地域の多様な主体が参加する防災イベントを通じて、公園を核とした発災時の連携体制を強化します。

地域防災訓練

多摩市の広域避難場所として

多摩市、町会、消防、ボランティア等と合同で、園内の防災機能を活かした大規模訓練を実施

桜



チャレンジ防災

町田市・八王子市と連携して

町田市、八王子市、町会、警察、消防、ボランティア等、地域の様々な主体と取り組む防災イベントを開催

内



(4) 地域に根差す公園づくり 多様な団体との連携イベント

私たちはこれまで様々な団体、周辺施設、地元企業と連携し、魅力ある公園づくりに取り組んできました。今後は、これまでのネットワークと新たな連携により、さらに地域を活性化する取組を展開します。

取組	内容	連携先	実施 公園
子ども 向け 探検マップづくり	子ども目線で公園をチェックし、新たな魅力を詰め込んだマップを作成	・近隣児童 ・近隣教育施設	緑
子ども 向け 親子サッカー教室	憧れのプロサッカー選手やチームマスコットと触れ合い、楽しみながらサッカー体験	・地元プロサッカーチーム	緑
誰でも ヘルシー リレーウォーク	自然や歴史等をテーマに各施設を巡る健康づくりウォーキング	・観光コンベンション協会等	内
誰でも 音楽の集い	旧多摩聖蹟記念館で、地域の演奏家のコンサートを実施	・地元教育委員会 ・地域の演奏家	桜



探検マップづくり



音楽の集い

↑↑↑ これまでに築いてきたネットワークの活用&新たな連携へ！ ↑↑↑

【連携実績のある団体(一部)】

地域・まちづくり	地元自治体、所管警察、所管消防、町会、多摩商工会議所、南大沢スマートシティ協議会、(一社)町田市観光コンベンション協会、アレサ商栄会、八王子市地域包括支援センター南大沢、FC 町田ゼルビア、小山の住みよい街づくり協議会、NPO 法人多摩草むらの会、NPO 法人たまりば、(株)バルカー、町田市陸上競技協会、まちだテクノパーク、宮上地域防災連絡会、鏈水尾根協議会、NPO 法人小野路街づくりの会、NPO 法人まちだ結の里 等
緑・生物多様性	(公財)東京動物園協会、NPO 法人多摩丘陵の自然を守る会、森林総合研究所、NPO 法人鶴見川源流ネットワーク 等
周辺施設管理者	(公財)東京都スポーツ文化事業団、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団、NPO 法人フュージョン長池、西由木コミュニティパーク 等
教育施設	東京農工大学、多摩大学、桜美林大学、サレジオ工業高等専門学校、洗足学園音楽大学、東京都立大学、都立多摩桜の丘学園、東京都立南大沢学園、東京薬科大学、法政大学、ヤマザキ動物看護大学、山野美容芸術短期大学、その他近隣保育園・小学校・中学校 等
子育て・福祉	町田市堺地域子育て相談センター、町田市青少年健全育成小山田地区委員会、町田市社会福祉協議会(ふれあいサロン清住)、高齢者あんしん相談センター南大沢、八王子市社会福祉協議会、手話サークル町田、(福)由木かたくりの会 等

2. 協働の輪を広げるボランティア活動支援

園内でのボランティア活動の継続、拡充のため、交流や参画の機会を創出します。

誰でも

ちょこっとボランティア



手ぶらで参加できるボランティア活動



公園散策のついでに気軽に参加できる里山保全活動のお手伝い

🌸お手伝いの例🌸

- 【雑木林保全】ポット苗づくり
- 【モニタリング調査】セミの抜け殻集め
- 【草地管理】草むしり
- 【外来種駆除】見つけたら報告

大人向け

学生向け

里山学芸員ネクスト

丘陵地レンジャーお助け隊



生物多様性保全と普及啓発の担い手育成

生物多様性保全活動とガイドウォークの補助など、丘陵地レンジャー活動を支える個人ボランティアを育成

▶▶里山学芸員として認定



誰でも

ボランティア交流会

未来へつなげる活動促進の取組

イベント形式のボランティア交流会やSNS等を活用した活動紹介を通じて、活動の活性化と新規参加者の獲得を促進



(5) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案

私たちは、多摩丘陵グループの豊かな生物多様性環境や丘陵地ならではの立地条件を活かし、多様化する来園者のニーズに的確に対応した質の高い利用者サービスを提供する魅力的な自主事業を展開します。自主事業の内容は、公の施設である都市公園に相応しいものとし、実施に際しては、事前に東京都等と十分に協議・調整し、必要な許可等を得た上で実施します。

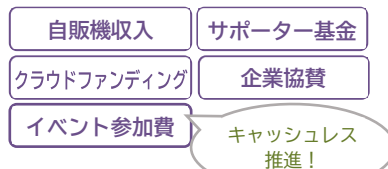
公園凡例： 小山内裏公園 小山田緑地 桜ヶ丘公園 長沼公園 平山城址公園

1. 自主事業の考え方

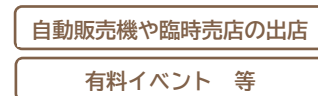
○本グループで実施した自主事業の収益（必要経費を除いた利益）については、来園者から公募する自主企画イベントプログラムの原資として活用するなど、まちづくり、利便性、賑わいの観点から公園の魅力づくりに還元します。

○企業協賛やサポーター基金、自販機収入、クラウドファンディング、イベント参加費等から、自主事業の内容・品質に合わせバランスの取れた安定的な資金調達を行い、魅力的な自主事業を実現します。

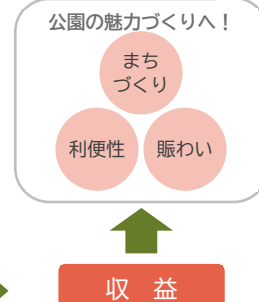
①資金調達



②自主事業の実施



③公園への還元



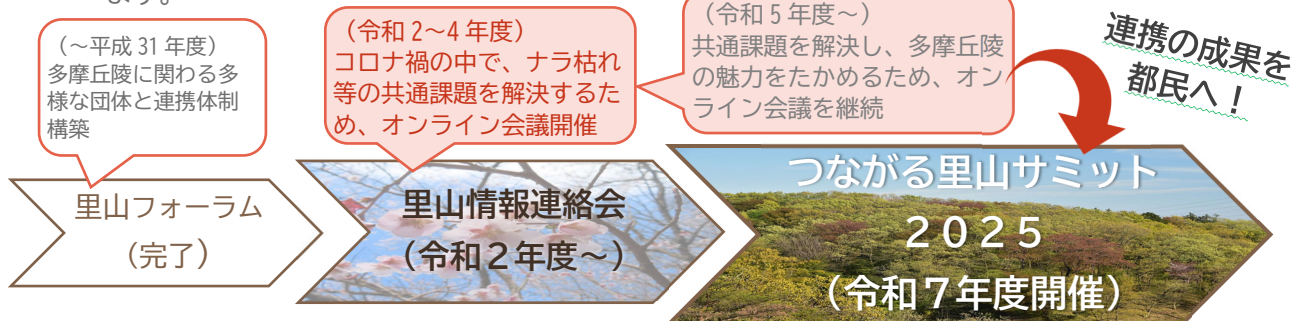
2. 具体的な取組内容

(1) 多摩丘陵として連携 里山情報連絡会の発展

サポーター基金 イベント参加費

誰でも

多摩丘陵に関わる多様な団体（自治体、公園管理者、大学・研究機関、関係ボランティア団体等）が参加し、共通の課題の解決に向けて話し合う「里山情報連絡会」を継続。参加者を広く都民から公募して多摩丘陵の魅力をアピールする「つながる里山サミット2025」へ発展させます。



(2) みんなで公園づくり トイレone up!プロジェクト

クラウドファンディング 企業協賛

誰でも

子ども向け

小山田緑地の玄関口、SC前にあるトイレは、日常的に公園利用者やボランティアに使用されています。このトイレをより親しみやすく使用してもらうため、SC前の階段を利用したミニ田んぼや花壇の雰囲気にならわせ、生きものをテーマにしたアート展示、季節の植物での装飾などを地域住民と協働で行い、魅力的な「わたしたちのトイレ」を創り上げます。

地元企業などからの協賛金やクラウドファンディングで、展示や装飾に必要な道具や材料を準備します。



(3) 新しい発想で誘客 多摩丘陵マイクロツーリズム

イベント参加費 企業協賛

誰でも

学生向け

里山環境ならではの公園資源を活用し、近隣大学や沿線鉄道会社等と連携した魅力的なツアープログラムを創出し、都心からのマイクロツーリズムを推進します。



(4) 地域の里山環境が育んだ恵みを食卓へ 地産地消マルシェ

イベント参加費

誰でも

障がい者就労支援施設や近隣農家など、地域で活躍する生産者によるマルシェを開催します。地域住民が交流しながら、誰もが気軽に里山暮らしとその恵みに触れられる機会を提供します。

里山マルシェ

地域が応援する障がいのある方の就労体験



障がい者就労支援施設で作られた野菜等を
直接利用者へ販売する機会の創出

内

小山田緑市ーりよくいちー

NEW

近隣農家等との連携による地域野菜販売



地元の名産品の販売を通した
「もの」と「まち」のPR

緑

(5) 里山環境を活かした学びの場 たまQカルチャー

UP

イベント参加費

里山カレッジ事業のスペシャル版として、専門知識や技能を有した特別講師による文化講座を開催します。生物多様性豊かな公園環境や、地域に息づく里山文化を学ぶ、生涯学習の場を提供します。

取組	内容	実施 公園
大人向け 自然観察会 外部専門家によるワンランク上の自然観察会	外部専門家の解説付で公園の草花や生きものを観察しながら、多摩丘陵の豊かな生物多様性環境を深掘りする特別なガイドツアー   	全公園
大人向け 歴史さんぽ 地域の研究家による遺跡・史跡めぐり	園内の遺跡や周辺地域の史跡を巡り、歴史の中の多摩丘陵を再発見 	平
大人向け 里山ヨガcafe 豊かな自然の中で心身ともにデトックス	青空の下で伸び伸び体を動かした後はお茶を飲みながらリラックス 	内
誰でも 里山アートクラス アートを学び、創り、発表します	園内の動植物をモチーフにした作品を作成し、園内で展覧会開催 	桜

(6) 里山移動図書館 さとやまブックファースト

UP

自販機収入

子ども向け

地域図書館やボランティア、近隣教育施設等と連携し、地域に住む子どもたちが豊かな自然環境の中で本に触れ、読書に親しむ機会を提供します。

どこでも図書館

里山や生き物に関する図書コーナー設置



生物多様性豊かな公園の中で
読書の楽しみを感じるひととき

内

緑

桜

おはなし会

司書やボランティアの読み聞かせ



大人も高齢者も、子どもと一緒に
紙芝居や絵本の世界へGO!

内

桜

本の交換会

地域の子どもの交流を促します



読まなくなった本をあの子へ
読んでみたい本をあの子から

内

(6) 東京 2020 大会レガシーを継承する取組

私たちは、東京2020大会開催をきっかけに、ユニバーサル対応としてスロープ整備や段差解消等を実施したほか、海外からの来園者へのおもてなしとして公園サインの多言語化などを進めました。

今後は、丘陵地の特性を踏まえながら、「スポーツ機会の提供」「ホスピタリティ・おもてなし」「ユニバーサル社会への貢献」の3つのレガシーを次世代に継承するため、さらに積極的な取組を展開します。

1. レガシーを継承する取組

(1) 誰もが親しめるスポーツ機会の提供

LEGACY
の視点

- スポーツ気運
- パラスポーツ認知拡大

実績

距離表示によるセルフウォーキングコースの設定や、プロ野球選手や地元プロサッカーチームによるスポーツプログラムを開催するなど、誰もがスポーツに親しめる機会を創出しました。

丘陵地の健康づくりプログラム

丘陵地の変化に富んだ自然環境を活かしたセルフウォーキングやヨガなど、多彩な健康づくりプログラムを展開します。

誰もが楽しめるスポーツプログラム

ポッチャなどのパラスポーツに触れられる機会やアプリを使った健康づくりなど、気軽に誰もが楽しめるスポーツプログラムを提供します。



親子サッカー教室
(小山田緑地)

(2) ホスピタリティ・おもてなし

LEGACY
の視点

- おもてなし花壇
- SNSを活用した季節の動植物情報配信

実績

近隣施設やボランティア等と連携したおもてなし花壇やウェルカムゲートを設置し、来園者を花で魅了する取組を進めました。

協働によるおもてなし花壇

ボランティアと協働でおもてなし花壇づくりを継続します。

四季の動植物情報のSNS発信

生物多様性豊かな自然環境を活かし、季節の動植物情報をSNSや「多摩丘陵いきものアーカイブス」、セルフガイドツールで定期的に発信します。



おもてなし花壇
(小山内裏公園)

(3) ユニバーサルな社会へ

①世界中からのさまざまな文化的背景をもつ人々を公園に呼び込む多言語化の推進

LEGACY
の視点

- 国内外の来園者対応
- 外国人等の災害時要配慮者対応

実績

「おもてなし研修」等を通じて外国語対応や異文化理解を推進し、園内マップ等配布物やHPの多言語化対応等による情報発信を強化しました。

多言語での来園者対応

英語併記を中心とした多言語対応を継続実施し、窓口などでの対応には多言語翻訳アプリを導入します。

記号等を活用した外国人等への配慮

ピクトグラムによるサイン表記を基本とし、発災時の「やさしい日本語」による情報発信も含め、公園特性、視認性などを考慮した外国人対応を実施します。



4 国語対応のピクトサイン

②誰もが安全に利用できるインクルーシブ環境の提供

LEGACY
の視点

- ダイバーシティの進展
- インクルーシブ対応

実績

園路のスロープ設置や不陸解消、手すりの設置等施設補修のほか、発生材を活用した環境教育アクティビティの提供、レイズドベッド等車いすでも使いやすい用具の作成を行いました。



レイズドベッドの製作・導入
(桜ヶ丘公園)

DXを活用したバリアフリー情報発信

「Wheel log!」アプリを活用し、これまで進めたユニバーサル対応の施設補修の状況や、実際の利用調査等に基づき、公園バリアフリー情報を分かりやすく発信します。

多様な手段でのバリアフリーな接遇

接客時、筆談具や指差しコミュニケーションボードによるバリアフリー対応を継続します。

誰もが参加できる自然遊び

年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが参加でき、一緒に楽しむことのできるインクルーシブな自然遊びプログラムを提供します。

このページは空白です

4 施設維持管理計画 (1)適切な維持管理を行うための取組

多摩丘陵の生物多様性豊かな里山環境に配慮しながら、公園施設のストック効果を最大限に引き出す計画的・定期的な維持補修を継続します。利用者や地域住民のニーズや社会情勢に応える柔軟な対応や、環境に配慮した資材・工法の導入により、利用者全員が安全・安心・快適に、笑顔で過ごせる維持管理を行います。

1. 維持管理の方針

公園を利用する誰もが笑顔になる維持管理方針

- 長期的で将来を見据えた計画的な維持管理を行う体制を整え、安全・安心・快適な公園づくりを推進します。
- 利用者や地域住民の声を吸い上げ、地域に愛される里山環境の保全や、共創による維持管理（グリーンセッション プロジェクト）に取り組みます。
- 再生可能エネルギーの導入等の脱炭素化やユニバーサルデザインに配慮した施設補修等を行い、社会問題の解決にも貢献する維持管理を積極的に実施します。
- ODXによる現場状況のリモート把握やクラウド管理等により、安全性や業務効率の向上に努めます。

2. 日常管理における取組方針

(1) 安全・安心・快適性の確保

①計画的かつ利用者の声を踏まえた柔軟な維持管理

- ・予防保全的観点から遊具、ベンチ、サイン等の年次別補修計画を更新し、PDCA サイクルに基づき、最適な工法や費用を検討し、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を追求した維持管理を継続します。
- ・利用者、地域住民の声を計画の見直しに柔軟に反映し、安全・安心・快適性を向上に取り組みます。

②利用者の満足度を高める戦略的維持管理

- ・時間別・ゾーン別の利用特性、利用者ニーズを考慮した戦略的な植栽管理及び施設管理を進めます。
- ・災害特約店事業者等と一体的な維持管理体制を継続し、事故・災害時には迅速かつ確に原状復旧を行います。

③グリーンセッションプロジェクト～利用者と一緒に考える維持管理～

- ・様々な公園の施設管理や植物管理を利用者参加型で行う「one up!プロジェクト」をはじめとした利用者と共創する維持管理に取り組みます。

④コンプライアンスの徹底

- ・維持管理コンプライアンス点検を実施し、各種関係法令の遵守及び法定点検や法定講習を確実に実施しているか、全社的な視点で「作業の安全」、「公園施設の安全」、「作業機械類の安全」を確保する態勢を強化します。

one up!プロジェクト	
トイレ	ベンチ
安全性・快適性等の向上を図り、利用しやすくなるトイレに改修	機能性と芸術性を備えたベンチのリノベーション

(2) 環境に配慮した維持管理

①生物多様性保全と発生材活用の取組

- ・公園協会版「生物多様性保全戦略」に基づき、環境に配慮した維持管理を行います。
- ・発生材の園地改良資材、イベント資材、ノベルティとしての活用を推進します。

②環境低負荷機材の活用

- ・再生可能エネルギー電力の導入や環境負荷の低い電気自動車や電動工具等に順次転換します。

里山ならではの発生材活用事例（令和2年度・小山田緑地）



稲刈り



あんぐる作り



ぬかるみに敷設

地域住民・ボランティア・子どもたちと協働で行う田んぼ活動で発生した稲わらを、伝統的なあみぐるみでむしろに編み、ぬかるんだ園路の舗装材として再利用！ 持続可能な里山暮らしの普及啓発にも活用しました。今後も多摩丘陵グループでは、同様の里山ならではの発生材活用に取り組みます。

解説サインを設置して、里山文化を発信！



(3) 維持管理におけるDXの活用

①リモート施工管理による効率化

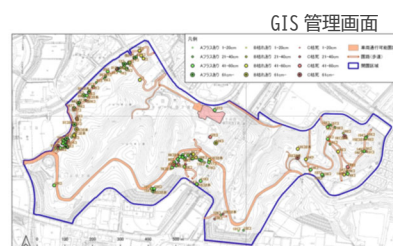
- ・リモート環境でリアルタイムに動画等で緊急時被害状況や施工状況等が把握できるクラウド遠隔支援システムを導入し、グループ統括部署及び本社専門部署の現場確認・指示等のスピード向上を図ります。

②利用者への園内情報の公開

- ・補修工事や草刈作業等、安全と利用制限に関する情報を、事前の園内掲示に加え、SNS や公園情報ダッシュボード等で発信し、来園者の利便性を向上させます。

③地理情報システム（GIS）等を活用した効率的な維持管理

- ・GISを活用し、苦情頻出箇所や要修繕箇所を随時更新、SC とグループ統括部署が情報を共有し、効果的な維持管理を行います。



3. 丘陵地公園の特性を活かした維持管理の取組方針

(1) 地域の誇りとなる景観「里山パークビュー」の保全

それぞれの公園が誇る「里山パークビュー」を、計画的な草刈、樹木剪定等を適切に行うことで、眺望点からの風景や歴史ある里山景観、池等の水辺環境を守ります。さらに、生物にとっても良好な環境に配慮した維持管理を行い、丘陵地の特性を踏まえた魅力ある風景を次世代へ継承していきます。

長沼公園 ・殿ヶ谷の景観 ・栃本尾根の展望地から見た市街地の景観 ・展望園地からの市街地の眺望		小山内裏公園 ・東西展望園地からの丹沢山系眺望 ・大田切池デッキから見た池の景観 ・古道「鮎の道」周辺景観	
平山城址公園 ・東園展望広場からの富士山の眺望 ・猿渡池の景観 ・六国台から見た市街地の眺望		桜ヶ丘公園 ・ゆうひの丘からの市街地眺望 ・遊びの広場デッキからの景観 ・山の越谷から見た富士山の眺望 ・けやきの丘から見た草地広場の景観	
小山田緑地 ・みはらし広場からの富士山の眺望 ・運動広場「小山田の牧」の草地景観 ・梅木窪周辺の谷戸の田園景観 ・大久保分園の園路から見た里山風景			

(2) 里山環境に配慮した維持管理

①多様な里山環境に合わせた維持管理の工夫

- ・草刈り前に希少種をマーキングし保護、草刈範囲や刈込み度合いを調整し、広場のバッタ・チョウ、水辺のトンボ、ホタル等の生育環境を確保します。
- ・落ち葉や枯損木の一部はそのまま林床に残し、ササ刈りの発生材はエコスタックとして活用するなど、発生材を昆虫類のすみか等に活用します。

②多摩丘陵の里山景観を彩るサクラ等の後継樹育成

- ・里山景観を形作る希少樹木や名木を保全するため、社内外の専門家や団体と連携し、樹木点検や樹木診断、施肥や支柱設置等の対策、後継樹育成を継続します。

	小山内裏公園	桜ヶ丘公園
品種	タマノホシザクラ・ヤブザクラ	ヤマザクラ・宇宙桜
方針	希少種保全・育成（苗木育成）	後継樹育成（播種・苗木育成）
連携先	外部専門家（育成に関する助言）	多摩商工会議所



希少種マーキング



宇宙桜播種まき会

(3) 丘陵地特性を踏まえたユニバーサル対応

①インクルーシブの視点を取り入れた維持管理

- ・障がい者団体による園内調査を実施し、看板等の配色の工夫による視認性の向上や発生材を活用した不陸の解消など、誰もが丘陵地ならではの環境を楽しめるよう配慮した維持管理を推進します。

②熱中症対策

- ・各所に緑のカーテン、簡易ミスト等を設置して、夏季の熱中症対策を実施します。
- ・暑さ指数(WBGT)に基づく注意喚起を徹底します。

③伝わる情報提供

- ・多言語やピクトサイン、UD デジタル書体、やさしい日本語等の利用等に加え、QRコードやアプリの活用などスマホと連携した利用案内の充実を図ります。

④子どもの利用環境の向上

- ・遊具周辺の見通しの確保やベンチ補修を優先的に行う等、子どもたちが安心して遊べる環境づくりを進めます。



簡易ミスト

4. 維持管理の品質確保に向けた業務管理体制

維持管理の品質確保のため、SCとグループ統括部署、本社専門部署が連携して、①発注前の設計調査、②工事期間中の監督業務、③工事完了時の完了検査・作業の完了確認の各段階における業務管理を適正に行います。

クラウド遠隔支援システムの導入により、専門部署やグループ統括部署の監督員が本社等にいらながらも、きめ細かな現場確認・指示・記録等を行ってサービスセンターをサポートし、質が高く、均一的で、かつ、現場状況に合わせたスピード感のある監督業務を遂行します。

また、受託業務完了後には品質確保の視点で完了検査、受託事業者の成績評価を行い、結果を次の事業者選定に反映させ、より質の高い維持管理の品質向上に活用します。

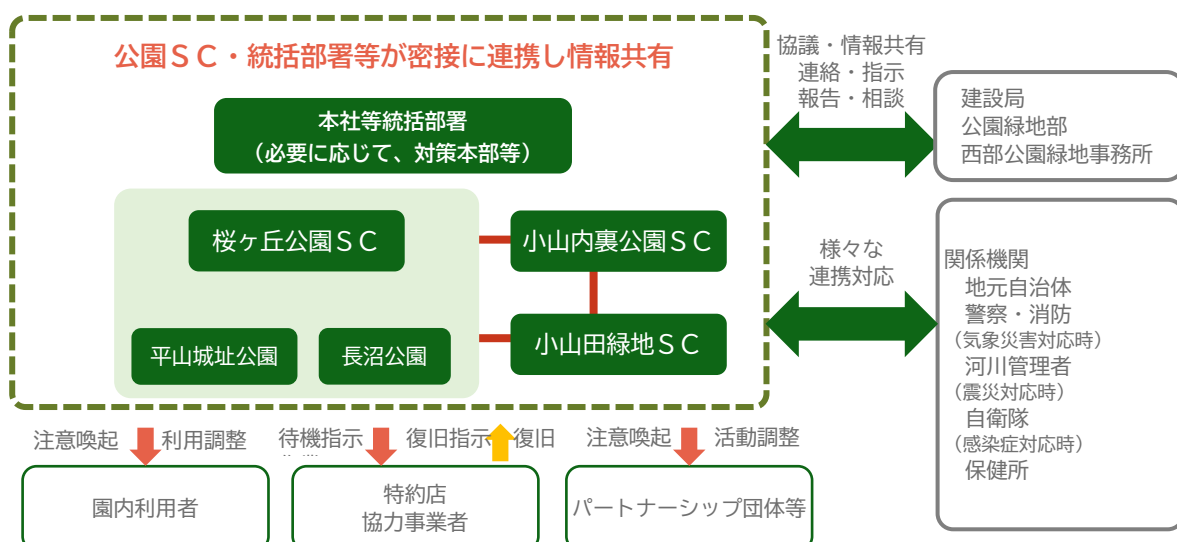
(2) 事故、自然災害及び感染症などの社会課題への対策・対処するための取組

組織的な安全管理体制の構築とマニュアルに基づいた体系的で的確な安全管理により平常時から事故や災害に備え、事故や災害の発生時には利用者の安全を第一に、タイムラインを活用して、迅速かつ的確に対応します。

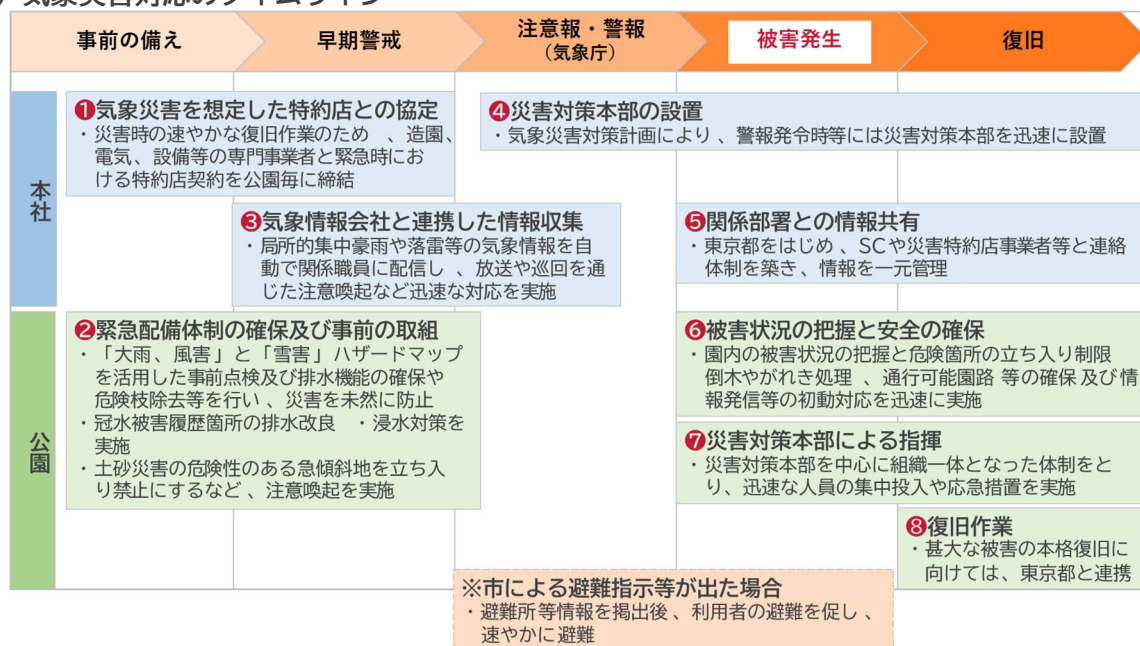
1. 事故や災害を未然に防ぐための具体的安全対策

安全作業への万全な取組	①『公園維持管理のための安全管理マニュアル』に基づく危険予知（KY）ミーティングを実施します。 ②工事前の十分な関係者間の情報共有や安全領域確保、事前周知により、安全な作業環境を確保し、利用者事故リスクを削減します。 ③「安全対策推進委員会」を設け、安全管理の推進による事故の未然防止と、再発を防止します。		KY ミーティング
異常の早期発見	①園路、広場、トイレ等施設については漏れの無い巡回点検を行い、安全利用の確保と異常の発見時の速やかな対応を実施します。 ②繁忙期・イベント時等、施設管理上支障が懸念される場合、特別巡回を実施します。 ③他公園等での事故発生時も、類似事故の発生防止のため緊急点検を実施します。 ④土砂災害リスク軽減の視点から、土砂災害警戒区域指定箇所や被害の懸念がある箇所を示したマップを活用し、日常的な巡回の中で施設の損傷の有無等を点検し、異常の早期発見に努めます。		巡回点検
倒木事故や災害等による事故の防止	①樹木については定期点検を行うほか、大雨や強風予報時には事前特別点検を実施します。 ②落枝や架かり枝点検を実施し、発見時は早急に立入禁止区域を設定し、除去します。 ③落枝の多い樹種に重点的に対応するため、枯枝重点点検エリアを設定し、繁忙期前に点検と処理を実施します。 ④腐朽等の異常発見時は、樹木医等による点検・診断を行い、安全を最優先に対処し、利用者に樹木点検診断内容を分かりやすく説明します。 ⑤マツ・ナラ枯れ等の害虫被害の早急な発見と、伐採処理や防除措置を徹底して被害拡大を防止します。 ⑥危険性の高い有刺植物や有毒植物等の移植や除去を行い、安全性を向上させます。 ⑦法面崩壊のリスク軽減のため、樹木剪定時には樹冠と根幹部のバランス等に配慮した剪定作業を行います。 ⑧小規模な土砂崩れには、応急的に土留め等を施工し、崩壊の拡大防止に努めます。	 	樹木点検 倒木対応
施設不具合の防止	①電気設備、消防設備等の法定点検を行うほか、夜間点検や防災訓練時等に職員による点検を行います。 ②遊具の有資格者による年2回の点検及び職員等による定期点検により履歴を記録し、危険箇所は即時使用中止と修理等の措置をします。 ③池や流れのポンプ等設備については、点検や定期的なメンテナンスを実施します。		遊具点検

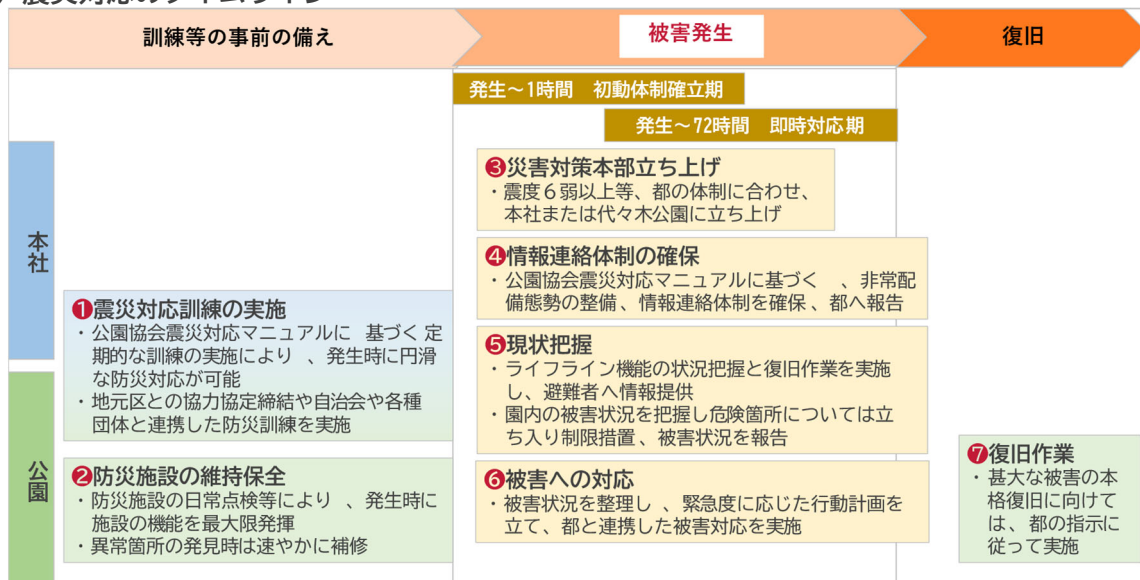
2. 自然災害・事故や感染症に対する組織体制及び対応、具体的取組



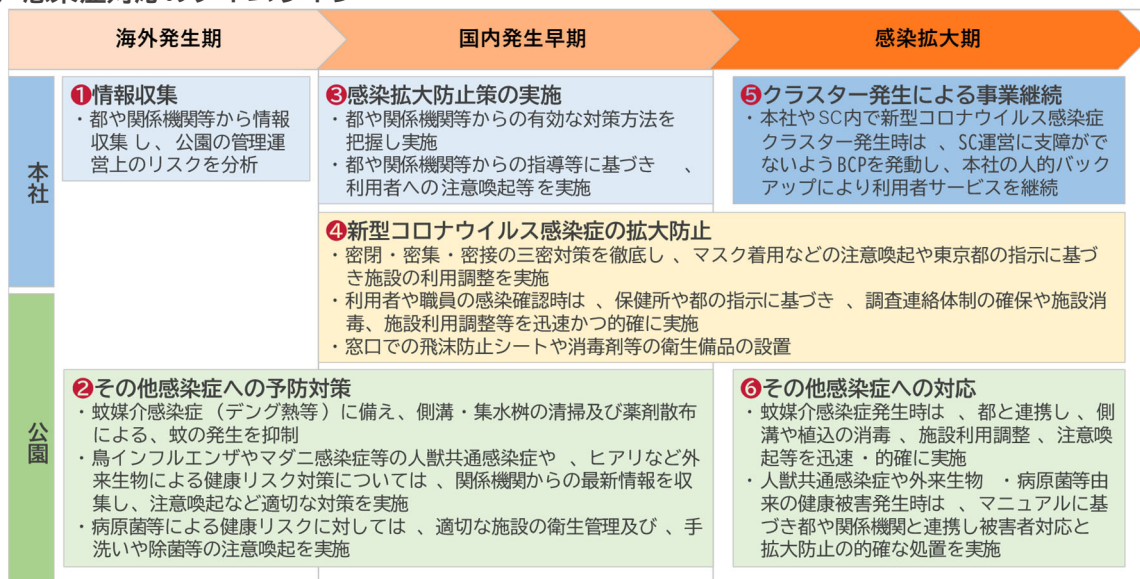
(1) 気象災害対応のタイムライン



(2) 震災対応のタイムライン



(3) 感染症対応のタイムライン

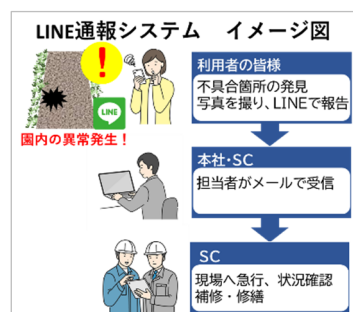


(3) 施設補修、施設改良に関する要望への取組

都民からの施設補修・改良の要望に対しては、速やかに現地確認を行って状況を詳しく把握したうえで、背景などの関連情報を収集し、安全・安心、他の利用者のニーズ等の総合的観点から優先度を考えて対応します。費用対効果にも留意しながら工法を選定し、長寿命化や環境に配慮した的確な補修・改良に積極的に取組みます。また、都からの要望・指示に関しては、都と進め方、工法、役割分担等を協議し、速やかに対応します。

1. 要望の収集・把握方法

- ①利用者からSCに寄せられる要望に加えて、SNSアプリ「LINE」を活用した通報システムを導入し、より広く、早く、施設の不具合情報の収集を行います。
- ②都からの要望に対しては、担当者から内容や配慮すべき事項などを細かに聞き取って工期・工法等を決定し、工事完了まで随時進捗等を報告します。



2. 要望の分類・整理に基づく対応姿勢

- ①寄せられた都民及び都からの要望については、「緊急案件」「通常案件」の優先度レベルを設定し、円滑に要望に対応します。
- ②要望者に対しては、実施内容について分かりやすく説明します。必要性や費用対効果等を検討した結果、要望に応えられない場合は、理由等を丁寧に説明します。一連の要望対応の取組については、随時、都の担当者と状況等を共有します。
- ③要望に基づく修繕は、工法、費用、工期（利用制限）等を考慮して工事内容を決定します。必要に応じて、「技術業務体験発表会」、「創意工夫アイデア・チャレンジ大賞」等で蓄積した横断的知識を活用、または、電気設備、樹木等の専門知識を有する職員等の意見等組織的な技術力を活かし、適切な工法を選定します。発注は特約店方式を除き、原則、見積随契・競争入札により行い、コストの低減に努めます。

優先度レベル		対応姿勢
緊急案件	○利用者や周辺地域の安全や通常利用に支障があるもの	・ 即時、安全確保 。必要に応じて専門業者による応急措置工事
	○著しく景観へ影響するもの	・ 迅速に対応可能な工法を費用、工期も考慮して選定し、工事等実施
通常案件	○事故報告対象のもの 等	・ 大規模な案件については、東京都に緊急協議し方針決定
	○要望が多いもの	・ 特約店方式、緊急起工方式等による発注で、 迅速かつ効果的に実施
通常案件	○緊急案件に該当しない補修・改良等	・ 適切な工法、費用、工期（利用制限）等を検討し、工事内容を決定し、随時工事等実施
	○樹木の伐採・剪定に関するもの（緊急案件を除く）	・ 大規模な案件については、東京都と方針・役割を協議。必要に応じて、改修要望を提出
		・ 年間の維持管理計画に反映し、費用や事業効果も加味し、戦略的に実施。伐採の要望については、必要に応じて樹木診断等により慎重に判断、都へ協議し対応

3. 施設の補修・改良提案

もっと利用しやすいトイレに（トイレone up!）

トイレをもっと利用しやすいよう改善を求む声にこたえるため、地域を巻き込んだトイレの安全や快適性の面からの施設改修の実績・ノウハウを活かし、小山田緑地等でも地域参画を促し、ニーズや特性に合ったトイレのイメージアッププロジェクトを提案します。

【改良提案】小山田緑地 SC 前トイレ



外観が無機質で、ちょっと怖い…

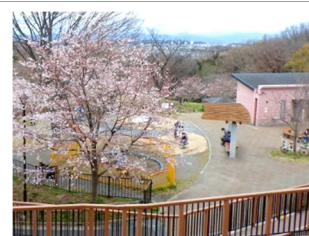
壁面の塗装や花装飾、外照明を交換して、明るいイメージに！

親しみやすく使いやすい、公園景観に合うトイレへ

みんなの快適ベンチ

（ベンチone up!）

小さなお子さんや障がいのある方も多く利用する桜ヶ丘公園遊びの広場のベンチを、デザインや色調に配慮して補修します。



小型ソーラー風力発電機の設置

メーカーと連携し、主に災害時の非常電源確保を目的に、スマートフォンやPC等の充電ができる、太陽光と風力のハイブリッド小型自立式発電機の導入を進めます。



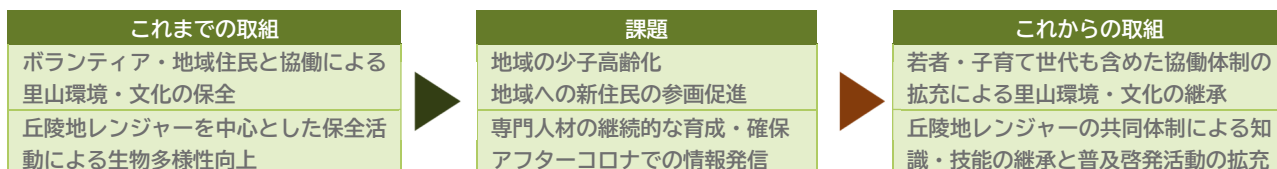
このページは空白です

(4) 丘陵地特性を踏まえた植生管理

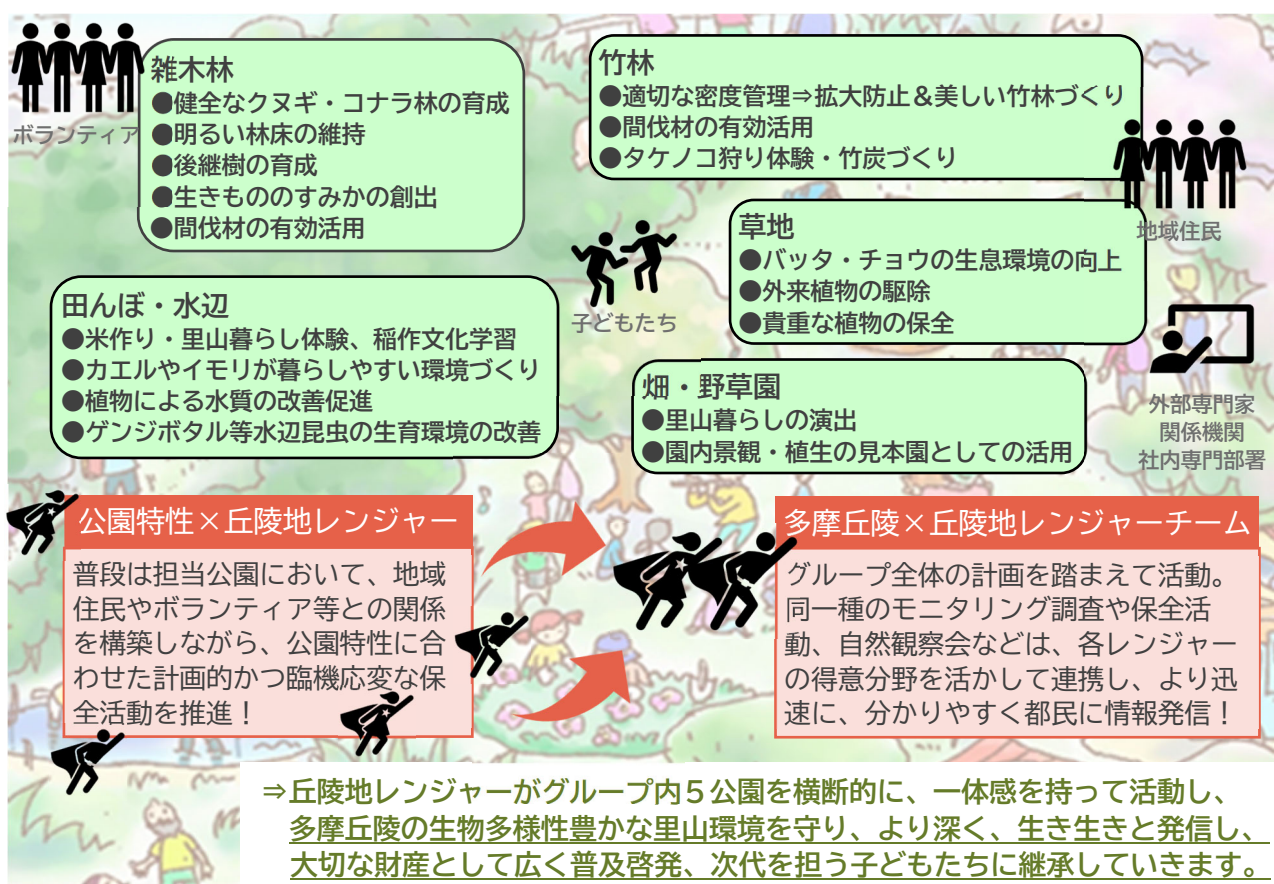
多摩丘陵 5 公園は、鶴見川等の源流域に位置し、クヌギ・コナラ等の雑木林や谷戸の湿生植物群落等の豊かな自然が残り、多様な生物の生息場所となっています。この豊かな生物多様性環境は、古くから人が手を入れて守り育ててきた里山として、私たちに残され、次世代へと継承していくべきかけがえのない財産です。

私たちはこれまで、丘陵地レンジャーが中心となって、ボランティアとの協働による雑木林等の保全活動やモニタリング調査を継続してきました。その中で培ったノウハウを活かし、保全活動の担い手となるボランティアや子どもたち、大学・研究機関等の外部専門家、社内専門部署である植物多様性センターと一緒に順応型保全管理を進め、丘陵地ならではの里山環境と文化を未来へと継承していきます。

1. 丘陵地ならではの里山環境を守る植生管理方針と担い手



《みんなで守る多摩丘陵の里山イメージ》



2. 具体的な取組

(1) 計画的な植生管理

- ・上位計画を踏まえ、「植生管理計画図」、「樹林地管理5箇年計画」等を作成、更新し、生物多様性に配慮した計画的植生管理を実施します。
- ・生物多様性保全活動の成果の普及啓発、環境学習での活用を意識した「公園管理シート（生物多様性版）」を作成します。定期的に社内専門部署の助言、社外専門家の意見を反映し、順応型保全管理を行います。



公園管理シート（生物多様性保全版）		【様式1】					
公園名	小山内裏公園	年度	2021年度	№	1	最終記入日	2022/2/6
P	テーマ	キイトンボ（多摩川）等、希少な生物の生息環境を改善する（サンクチュアリ内ビオトープ）					
	経緯・目的 ※継続の場合は年数も記載	池田等でも多摩川流域で最大規模のキイトンボ生息地の池が、流入土砂や隣接したヨシの増殖で年々埋まり縮小・干上がり状態が生じていたため、2018年からヨシの地下茎ごと池の泥を除去し、池下手に土壌を掘り込んで水深確保を試み、生息環境の保全・改善を行っている。（4年目）					
D	取り組み分野	Ⅱ 普及・教育					
	取り組み項目 ※末尾に事業計画・報告の番号を記載	・従来の取組（池田の年2回の選択的刈刈、水深確保）を継続しつつ、他の希少な種（トンボ類、カエル）との共存・共生を工夫する。 ・保全活動の成果を生かし、公園の自然・生き物を来園者が学ぶ機会を提供する。 ・地域住民、小中学生等と協働で作業を行い、公園の生物多様性保全を担う人材を育成する。 ・サテライトサンクチュアリ等の整備により、アクセスしやすい場所でもサンクチュアリの生息環境を創出できるように近隣の大学との連携に向けて協議する。 3-3-84、85、86					
取り組み結果 ※詳細はうら書を参照（任意）		① 希少な生物の生息環境確保（継続） ●池田を含め、選択的刈刈を年2回実施した。 ●池田のシロシロカ ●キイトンボの1 ③ 外来種侵入対策 ●池田に大田に ●池田に大田に					

公園管理シート（作成例）

【取組事例(小山内裏公園)】

ビオトープ池でのトンボ類の生育環境改善

- ◎丘陵地レンジャーによる調査、計画立案
- ◎3区画に分けた草刈りをボランティアとの協働等で実施
→生育ステージに合わせた生育環境の改善
- ◎近隣中学校の職場体験等で浚渫、ヨシの根切り
→自然水による水深を確保

⇒令和3年度にはキイトンボをはじめ20種を確認！
園内未確認となっていたシュレーゲルアオガエルも3匹確認！



キイトンボ



シュレーゲルアオガエル

(2) 協働・連携による里山保全活動と子どもたちへの継承

雑木林	①ボランティアと協働で行う計画的な雑木林管理 *間伐更新(伐採、萌芽更新等) *林床整備(ササ・下草刈り等) ②子ども向け雑木林保全プログラム *どんぐりポット苗づくり *近隣教育施設の環境教育での活用 《樹木病虫害への対策》 ◎ナラ枯れ被害の調査、伐採、予防等適切な処理 ◎マツ枯れ被害予防のための保護対策 ◎新たな病虫害発生時には専門機関等とのネットワークを活かし適切に対応	【取組事例(桜ヶ丘公園)】 桜ヶ丘公園雑木林ボランティアの活動が、令和3年度、30周年を迎えました！ ①「こならの丘」での計画的な間伐更新により、ナラ枯れ被害なし！ →樹木医学会、里山情報連絡会で好事例として高評価 ②「田んぼ」活動の継続により、水辺の動植物の生育環境向上！ →東京都環境局のドジョウ調査に活用 ③30周年記念誌発行！ →都民に取組内容、成果をPR！ 30周年記念誌&写真集
田んぼ・水辺	①地域住民やボランティアと協働で取り組む田んぼ活動 *年間を通じた田んぼ管理 *里山景観づくり ②子ども向け田んぼ体験プログラム *田植え・稲刈り体験 *近隣教育施設の環境教育での活用	
竹林	①NPO等との協働による美観に配慮した竹林の拡大防止 *適切な密度管理(孟宗竹:30~40本/100㎡) ②子ども向け竹林管理体験プログラム *竹林管理・発生材活用 *近隣教育施設の環境教育での活用	
草地	①NPOやボランティアと協働による貴重植物保全 *マーキング *モニタリング調査 *選択的除草 *エコパッチの設置 *外来種駆除 等 ②保全状況の“見える化” *解説サインの設置 *近隣教育施設の環境教育での活用	①特別支援学校やボランティアと協働で行う畑づくり *年間を通じた畑管理 ②子ども向け畑活用プログラム *種まき・植付け・収穫体験 ③野草園での貴重種展示 *神代植物公園植物多様性センターとの相互展示 *解説サインの設置

(3) 公園特性を踏まえた貴重種保全活動の推進

- ・各公園の貴重動植物(キンラン、カタクリ、ミズオオバコ、ゲンジボタル等)のモニタリング調査を行い、間伐、下草刈り、ササ刈り、落ち葉掻き、浚渫、冬季湛水、外来種駆除、選択的除草等により生息環境を保全します。
- ・神代植物公園植物多様性センターと連携し、シバヤナギ、コシオガマ等の貴重植物の採種、移植、生息域外保全等を行います。

成果は・・・

- ★自然観察会やニュースレター、SNS等で積極的に発信していきます！
- ★モニタリング調査結果をGIS等でデータ化し、「多摩丘陵いきものアーカイブス」としてまとめ、公式サイト「多摩丘陵へ行こう！」で閲覧できるようにします！

(5) 公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の考え方

多摩丘陵グループの公園は、昔ながらの雑木林や田んぼなどの里山環境を活かし、長年に亘りニュータウンに住む人々にやすらぎやレクリエーションを提供してきました。近年は、感染症対策による遠方への外出自粛、SDGs等により関心が高まる自然環境保全機運などにより、都心などに住む人々も自然とふれあい、季節感などの潤いを求めて来園するようになりました。

私たちは、これまでどおり地域の人々のニーズに応えるとともに、遠方から来訪する人々の生活の質の向上にも寄与できる公園づくりを進めたいと考えています。そのためには、丘陵地公園が持つ多くの効果や効用を最大限に引き出す維持管理が重要です。費用を効率的・効果的に投入し、環境に配慮した持続可能な資機材を導入するなど、次の6つの視点を複合的に組合わせて、「みんなで共創！」を合言葉に、これからも地域の人々と共に生物多様性豊かで美しい里山環境を守る維持管理を行います。

1. 「みんなで共創！」による新たな維持管理の取組

(1) 季節を感じる里山景観の演出

- ① 地域住民やボランティアとの協働で管理する雑木林や田んぼ等を、里山景観を利用者に提供する場として活用します。また、地域の子どもたちの体験型環境学習として、里山環境の保全を一緒に行います。
- ② 園内の豊かな生物多様性環境の見本園として、サービスセンター周辺に、ボランティアとの協働による野草園を整備し、里山の四季を感じられる公園づくりを進めます。



(2) パートナーシップの推進



- ① パークミーティングやグリーンセッションプロジェクト等を通じて、生物多様性豊かな多摩丘陵の未来像を共有し、多様なパートナーシップによる維持管理を進めます。地域住民だけでなく、都心からの利用者も含めた協働により、みんなの「心のふるさと」として愛着を持っていただけるよう、公園づくりに参加できる機会を増やします。
- ② 多摩地区の公園緑地管理者が参加する「里山情報連絡会」を継続開催し、共通の課題を共有、解決に向けて実践的な話し合いを行います。相互に助言や技術協力を行うことで、人にとっても生きものにとっても安心・快適な公園環境を保全、向上させるための維持管理につなげます。

(3) 豊かな里山生態系づくり



- ① 貴重動植物のモニタリング調査に基づき、季節や生きものの生育ステージに合わせた林床や草地、水辺の整備や外来種駆除等を計画的に行います。丘陵地レンジャーが相互に知識、技術を共有し、周辺地域のつながりや違いを意識しながら、四季折々の植物や生きものを観察できる環境を維持します。
- ② 園内の鳥類相、哺乳類等の動物相の経年変化を確認する指標として、食物連鎖を踏まえた昆虫相、植物相のモニタリング調査を社内外の専門家やボランティアと協働で実施し、園内の生態系保全に活用します。

(4) 循環型維持管理

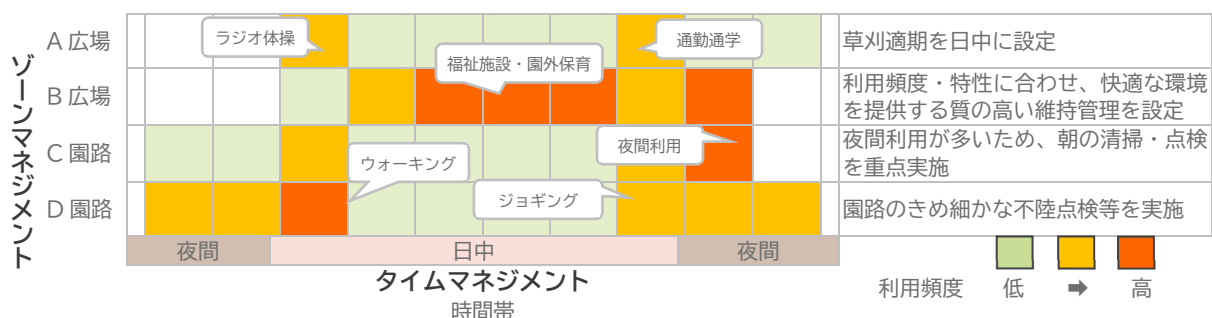
- ① 里山環境保全のための雑木林更新や竹林管理、田んぼ作業、安全管理のための樹木剪定や草刈り等による発生材を資源と考えて有効に活用します。剪定枝をチップ化して園路の舗装材として活用する等維持管理に利用するほか、エコスタック等として生きものの住みかを創出する等生物多様性環境の向上にも役立てます。
- ② 維持管理作業の資機材や修景物、掲示物等に生分解性を持つ素材を選定する等、環境に配慮した製品の導入を積極的に推進します。



(5) ローコスト維持管理

- ①ベンチ等の園内設備の補修にあたっては、長寿命で丈夫な素材や再利用可能な材料を選定し、メンテナンスや更新のコスト削減に取り組みます。
- ②利用者の利便性に配慮しながら、コストを抑えた効果的な維持管理を行うため、ゾーンマネジメントとタイムマネジメントの考え方を取り入れます。ゾーン別の利用頻度に応じた施設や部材等の耐久性や事故発生リスク、快適性向上等の観点から重点度や優先度を検討し、最適な時期や工法を選択することで、効率的な費用支出、人員配置による植物管理及び施設管理を行います。

《ゾーンマネジメント・タイムマネジメントによる維持管理計画の例》



(6) DXの活用

- ①「里山パークビュー」等に定点カメラを設置し、季節と共に移り変わる里山景観をライブ配信し、公園の魅力をリアルタイムで発信します。
- ②地理情報システム（GIS）等のデータを幅広く活用し、公式サイト「多摩丘陵へ行こう！」やSNS、アプリ等との連動により、利用者に工事箇所や利用制限等の園内情報を迅速に、正確に周知します。



ライブ配信 イメージ

■新たな維持管理の視点と取組の関係図

